

2015年度（16年3月期） 第1四半期決算概要

2015年7月30日
日本電気株式会社
(<http://jpn.nec.com/ir>)

目次

I.第1四半期決算概要

II.業績予想

決算概要（補足）

業績予想（補足）

参考資料（業績データ）

※ 15年度実績/予想の「当期純損益」は、親会社株主に帰属する当期純損益の金額を表示

I .第1四半期決算概要

当期純損益は前年同期並みの水準も、想定を上回り進捗

(単位：億円)

	第1四半期 <4~6月>		
	14年度 実績	15年度 実績	前年 同期比
売上高	5,987	5,866	△ 2.0%
営業損益	△ 71	△ 101	△ 30
対売上高比率 (%)	-1.2%	-1.7%	
経常損益	△ 100	△ 77	+ 23
対売上高比率 (%)	-1.7%	-1.3%	
当期純損益	△ 101	△ 100	+ 1
対売上高比率 (%)	-1.7%	-1.7%	
フリー・キャッシュ・フロー	533	809	+ 276

(単位：億円)

		第1四半期 <4~6月>		
		14年度 実績	15年度 実績	前年 同期比
パブリック	売上高	1,464	1,455	△ 0.6%
	営業損益	16	△ 5	△ 21
	営業利益率 (%)	1.1%	-0.4%	
エンタープライズ	売上高	544	683	+ 25.5%
	営業損益	△ 18	28	+ 46
	営業利益率 (%)	-3.3%	4.1%	
テレコムキャリア	売上高	1,510	1,426	△ 5.6%
	営業損益	43	△ 33	△ 76
	営業利益率 (%)	2.9%	-2.3%	
システム プラットフォーム	売上高	1,669	1,602	△ 4.0%
	営業利益	25	49	+ 23
	営業利益率 (%)	1.5%	3.0%	
その他	売上高	800	701	△ 12.4%
	営業損益	△ 49	△ 70	△ 21
	営業利益率 (%)	-6.1%	-9.9%	
消去・配賦不能	営業損益	△ 89	△ 69	+ 19
合計	売上高	5,987	5,866	△ 2.0%
	営業損益	△ 71	△ 101	△ 30
	営業利益率 (%)	-1.2%	-1.7%	

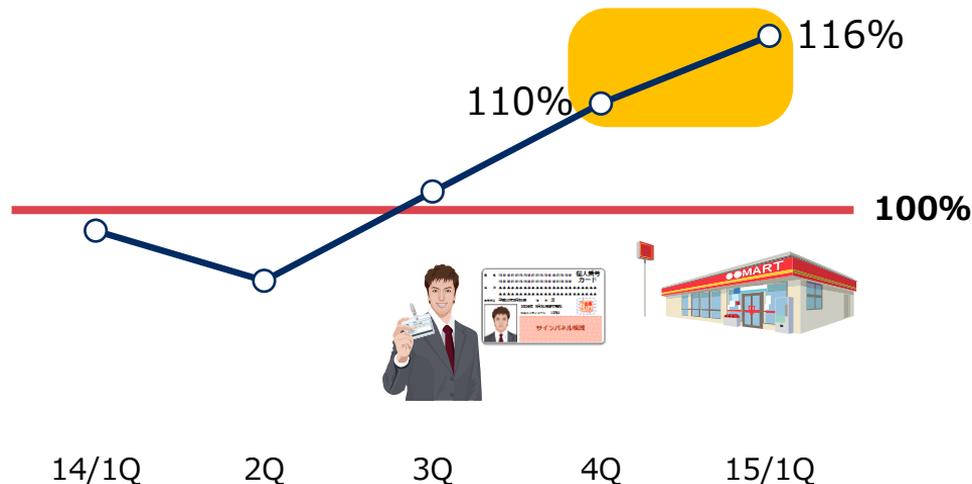
参考：第1四半期の売上平均為替レート（実績） 1ドル=120.23円、1ユーロ=131.42円

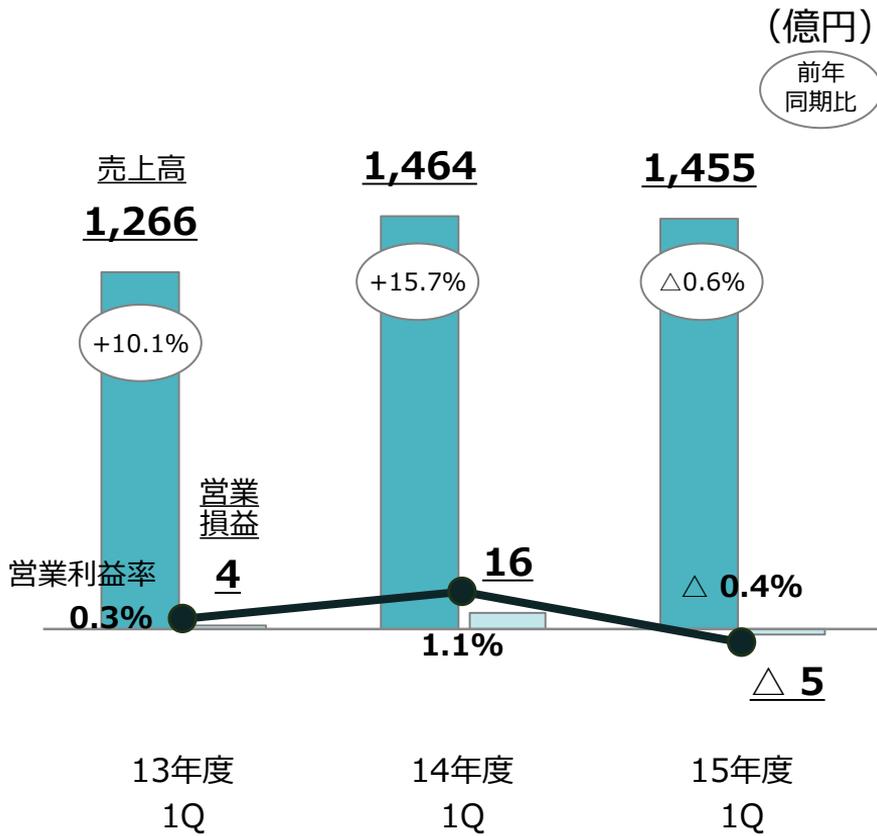
足もとの国内IT投資（サービス/ハードウェア）の受注は改善方向

国内ITサービスは14年度4Q以降、公共や流通・サービス業を中心に好調

PCサーバは15年3月以降、4ヵ月連続で好調

国内ITサービスの四半期別受注動向
(前年同期比)



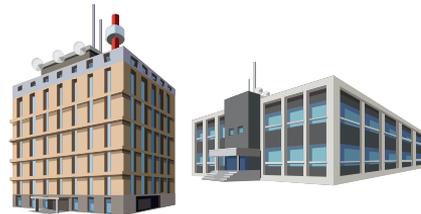


売上高 1,455億円 (△0.6%)

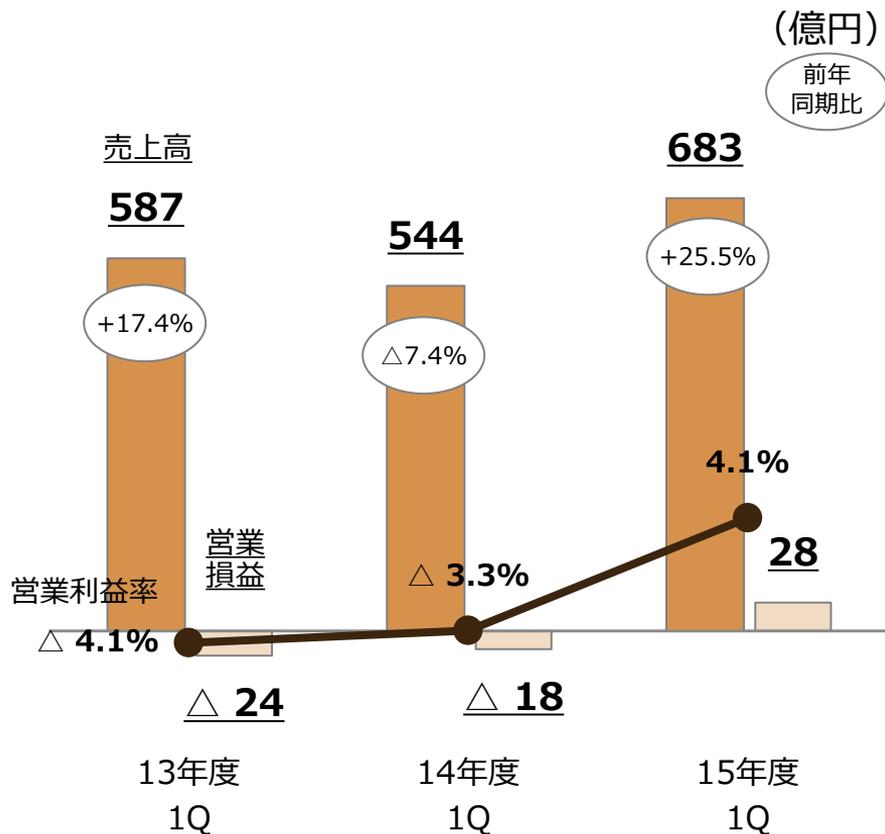
- マイナンバー関連需要の取り込みなどにより公共向けが堅調に推移
- 前年同期にあった大型案件の影響により官公向けが減少

営業損益 △5億円 (△21億円)

- 売上減に加え、体制強化による費用増などにより減益



※ カッコ内の%は前年同期比



売上高 683億円 (+25.5%)

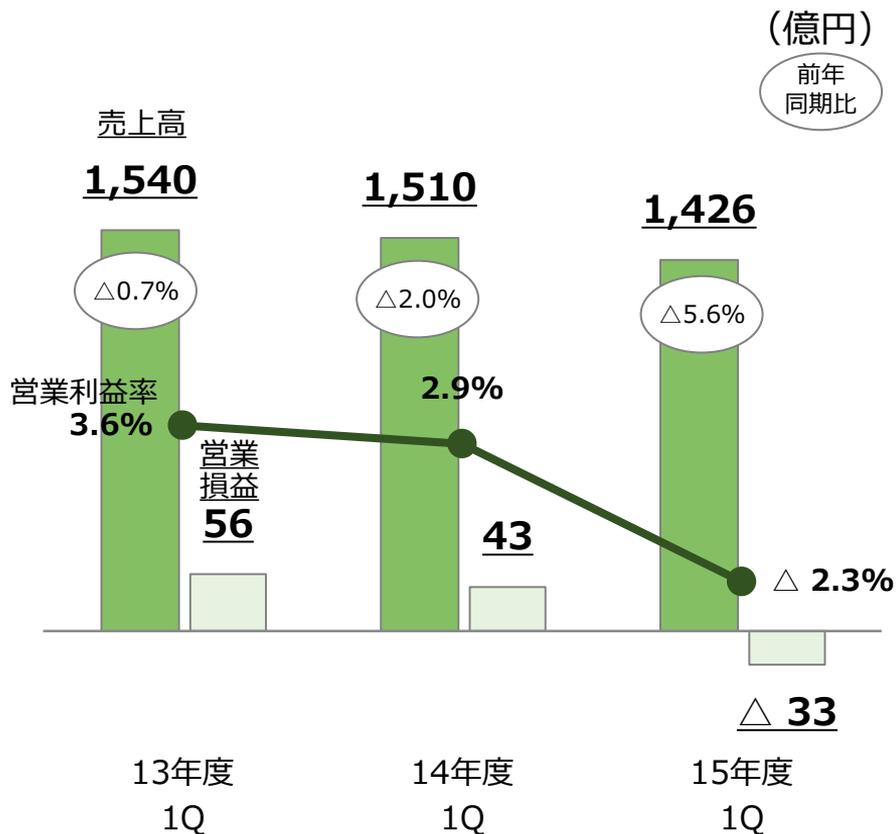
- 流通・サービス業向け、製造業向けで共に大型案件があったことなどにより増加

営業損益 28億円 (+46億円)

- 売上増に加え、システム構築サービスの収益性改善などにより増益



※ カッコ内の%は前年同期比



売上高 1,426億円 (△5.6%)

- 国内事業が減少
- 海外事業は海洋システムなどが増加

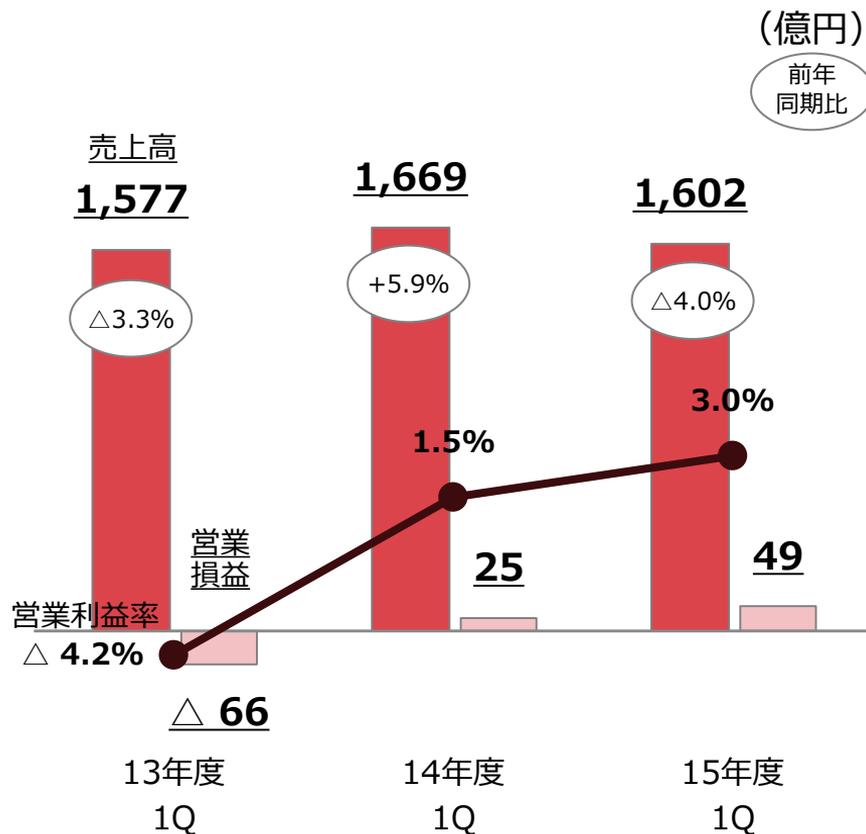
営業損益 △33億円 (△76億円)

- 売上減に加え、SDN関連の投資費用増などにより減益

※ SDN : Software-Defined Networking



※ カッコ内の%は前年同期比



売上高 1,602億円 (△4.0%)

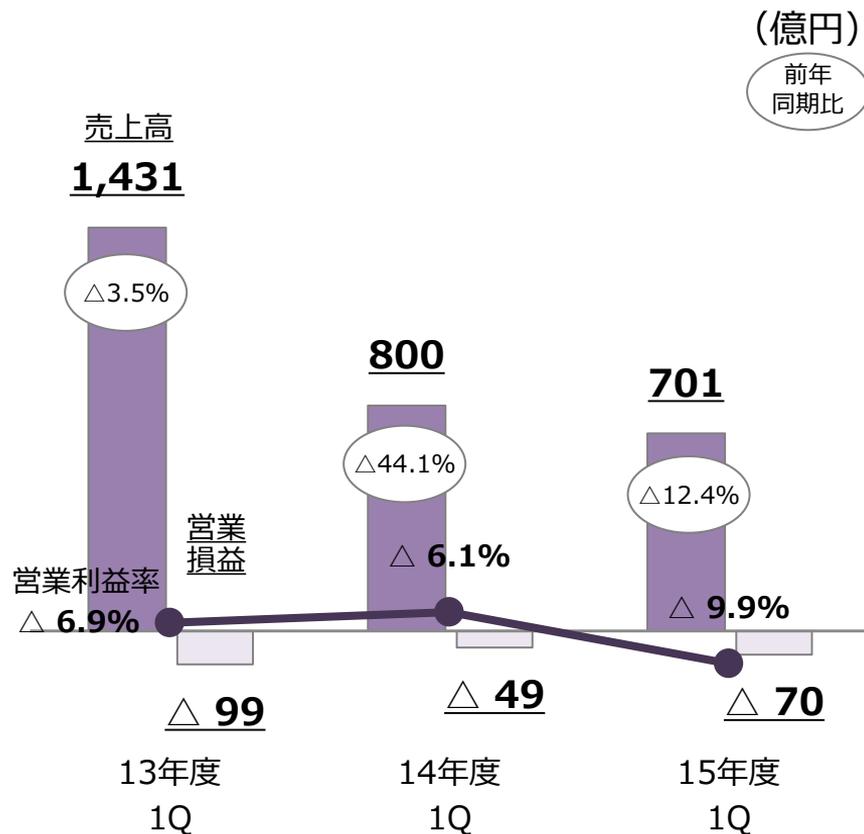
- サーバが堅調に推移したものの、ビジネスPCが減少したことなどにより減収

営業損益 49億円 (+23億円)

- 売上減もハードウェアを中心とした収益性改善などにより増益



※ カッコ内の%は前年同期比



売上高 701億円 (△12.4%)

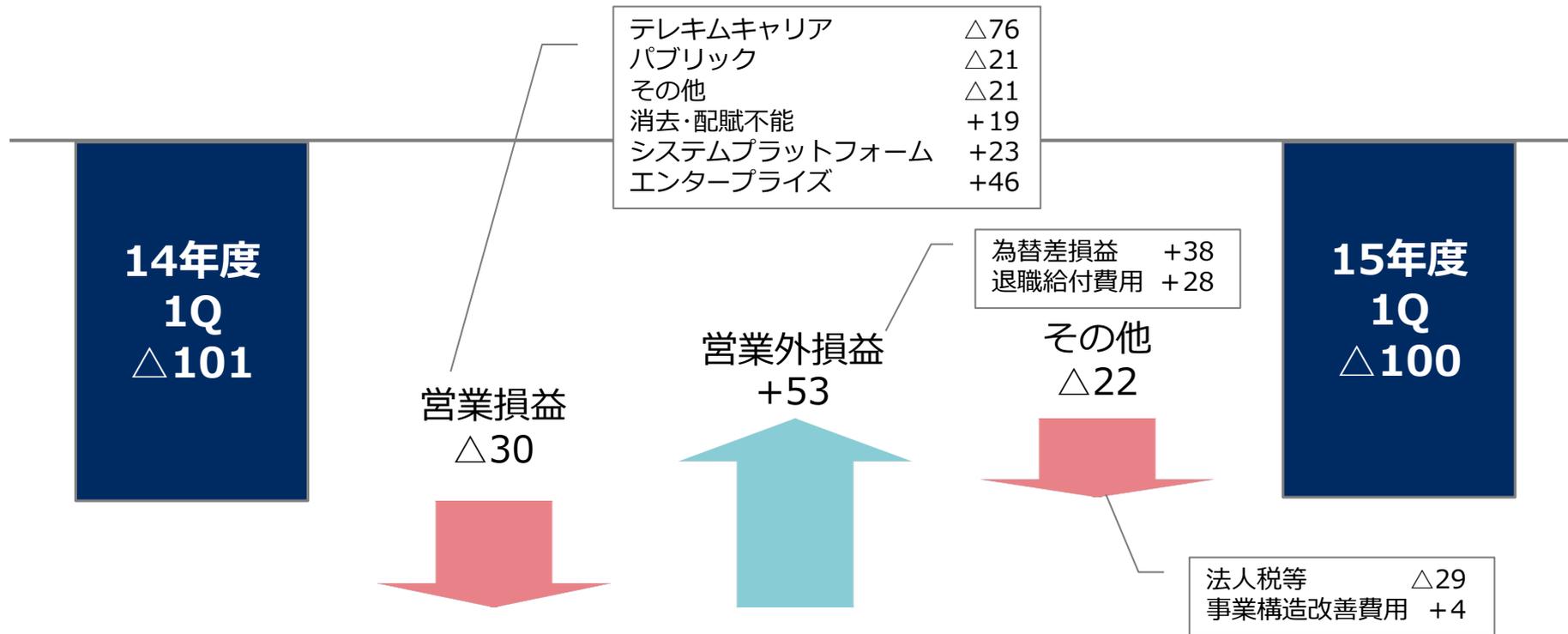
- 物流サービス事業の非連結化の影響や携帯電話端末事業の減少などにより減収

営業損益 △70億円 (△21億円)

- 売上減などにより減益

※ カッコ内の%は前年同期比

(億円)



SDNなど海外・注力領域の成長に向けて、社会ソリューション事業に注力

SDN

- スイスコムとSDN/NFV領域で協業
- ポルトガルテレコムと共同で家庭内通信機器の仮想化に関する実証実験を実施
- KDDI研究所のSDN/NFV実証実験に参加
- HPと通信事業者向けNFV領域で協業

ビッグデータ

- 三井住友銀行に「お客さまの声」を自動分析するシステムを納入

クラウド

- 東海大学向けにクラウドサービスを活用したコミュニケーション基盤を構築

エネルギー

- 米国最大の独立系統運用機関向けに蓄電システムを構築
- カリフォルニア大手電力会社に出力2.4MW、容量3.9MWhの大型蓄電システムを納入



※ NFV : Network Functions Virtualization

Ⅱ.業績予想

増収増益で当期純利益650億円の達成を目指す

(単位：億円)

	通期		
	14年度 実績	15年度 予想	前年度比
売上高	29,355	31,000	+ 5.6%
営業利益	1,281	1,350	+ 69
対売上高比率 (%)	4.4%	4.4%	
経常利益	1,121	1,200	+ 79
対売上高比率 (%)	3.8%	3.9%	
当期純利益	573	650	+ 77
対売上高比率 (%)	2.0%	2.1%	

フリー・キャッシュ・フロー	404	800	+ 396
---------------	-----	-----	-------

参考：15年度の為替レート前提 1ドル=115円、1ユーロ=130円

《参考》14年度上期実績：売上高 1兆3,248億円/営業利益 215億円

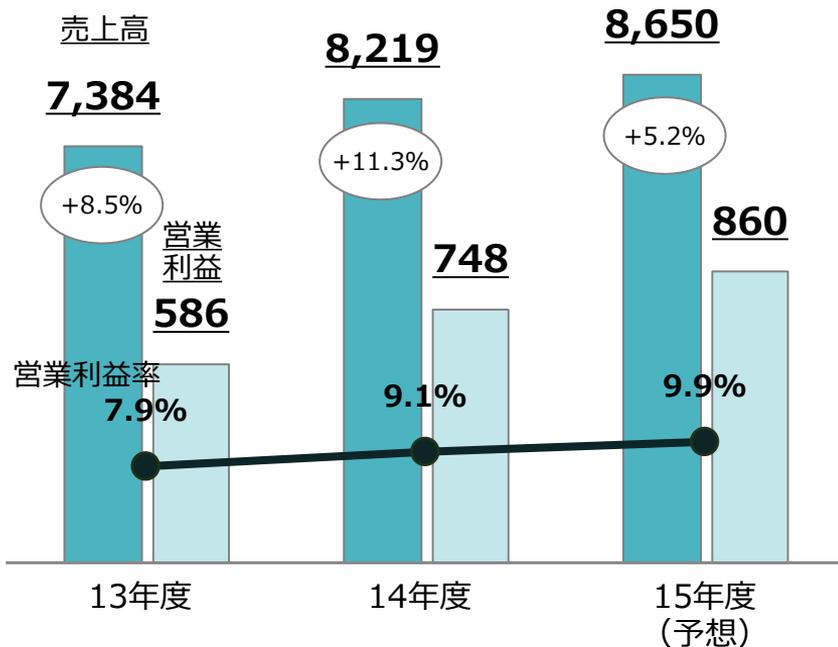
(単位：億円)

		通期		
		14年度 実績	15年度 予想	前年度比
パブリック	売上高	8,219	8,650	+ 5.2%
	営業利益	748	860	+ 112
	営業利益率 (%)	9.1%	9.9%	
エンタープライズ	売上高	2,705	2,900	+ 7.2%
	営業利益	83	110	+ 27
	営業利益率 (%)	3.1%	3.8%	
テレコムキャリア	売上高	7,402	7,800	+ 5.4%
	営業利益	620	640	+ 20
	営業利益率 (%)	8.4%	8.2%	
システム プラットフォーム	売上高	7,289	7,600	+ 4.3%
	営業利益	314	330	+ 16
	営業利益率 (%)	4.3%	4.3%	
その他	売上高	3,741	4,050	+ 8.2%
	営業利益	40	40	0
	営業利益率 (%)	1.1%	1.0%	
消去・配賦不能	営業損益	△ 524	△ 630	△ 106
合計	売上高	29,355	31,000	+ 5.6%
	営業利益	1,281	1,350	+ 69
	営業利益率 (%)	4.4%	4.4%	

※ 予想値は、2015年7月30日現在

(億円)

前年度比



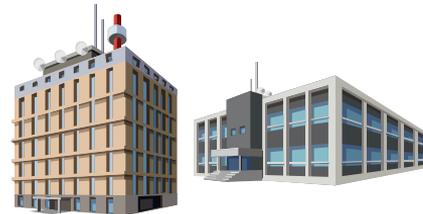
《参考》14年度上期実績：売上高 3,445億円/営業利益 219億円

売上高 8,650億円 (+5.2%)

- 官公向け、公共向けを中心に増加を見込む

営業利益 860億円 (+112億円)

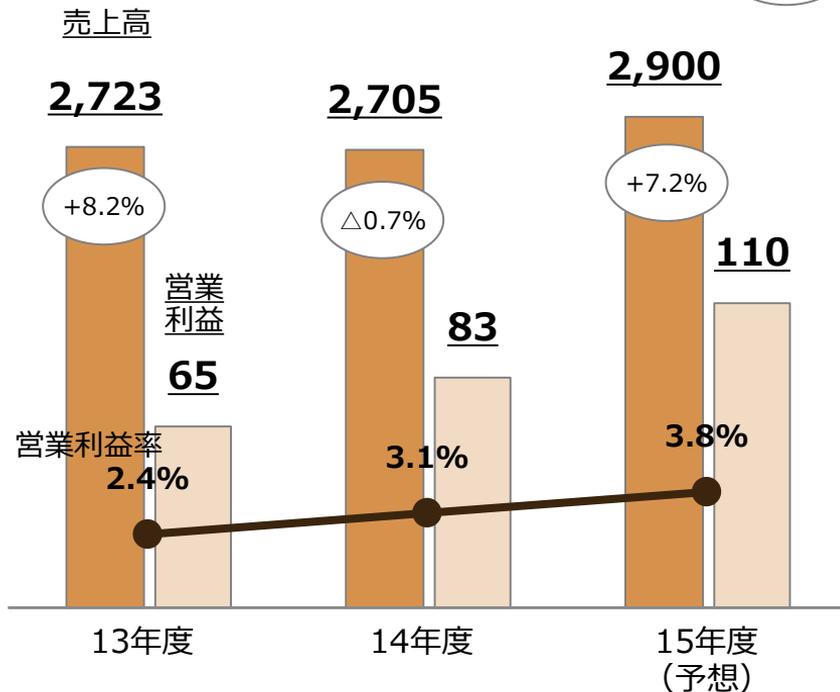
- 売上増、原価低減、不採算案件の減などにより増益を見込む



※ 予想値は、2015年7月30日現在、カッコ内の%は前年度比

(億円)

前年度比



《参考》14年度上期実績：売上高 1,267億円/営業利益 23億円

売上高 2,900億円 (+7.2%)

- 製造業向け、流通・サービス業向けともに増加を見込む

営業利益 110億円 (+27億円)

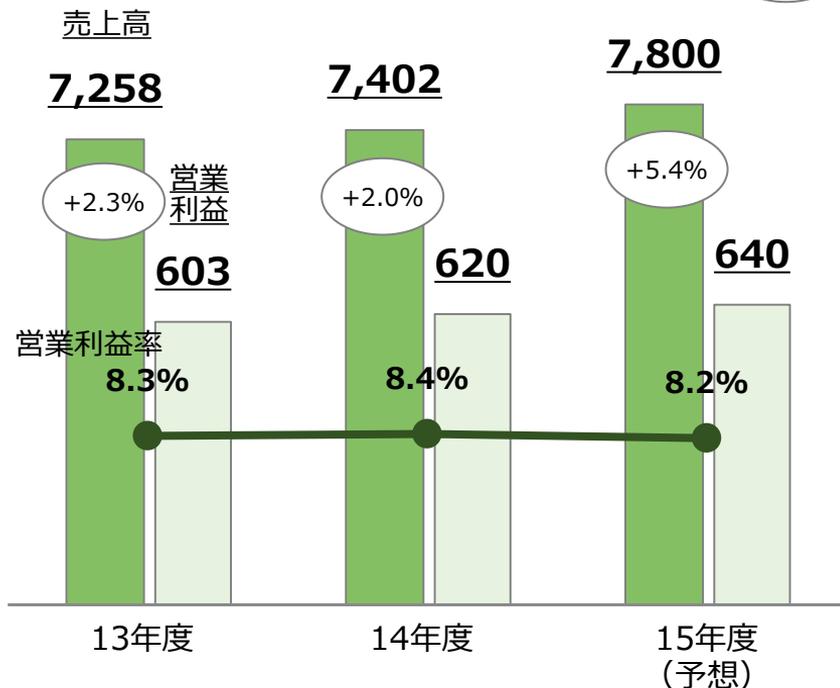
- 売上増に加え、収益性改善などにより増益を見込む



※ 予想値は、2015年7月30日現在、カッコ内の%は前年度比

(億円)

前年度比



売上高 7,800億円 (+5.4%)

- 国内は微減を見込む
- 海外はモバイルバックホール、TOMS、海洋システムなどで増加を見込む

営業利益 640億円 (+20億円)

- 海外を中心とした売上増により増益を見込む

※ TOMS : Telecom Operations and Management Solution

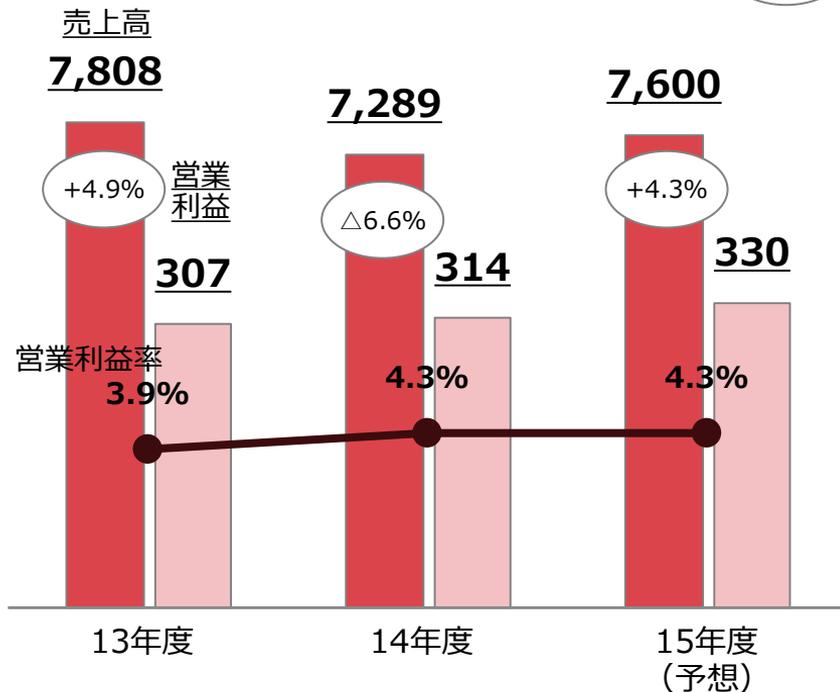


《参考》14年度上期実績：売上高 3,325億円/営業利益 166億円

※ 予想値は、2015年7月30日現在、カッコ内の%は前年度比

(億円)

前年度比



《参考》14年度上期実績：売上高 3,454億円/営業利益 87億円

売上高 7,600億円 (+4.3%)

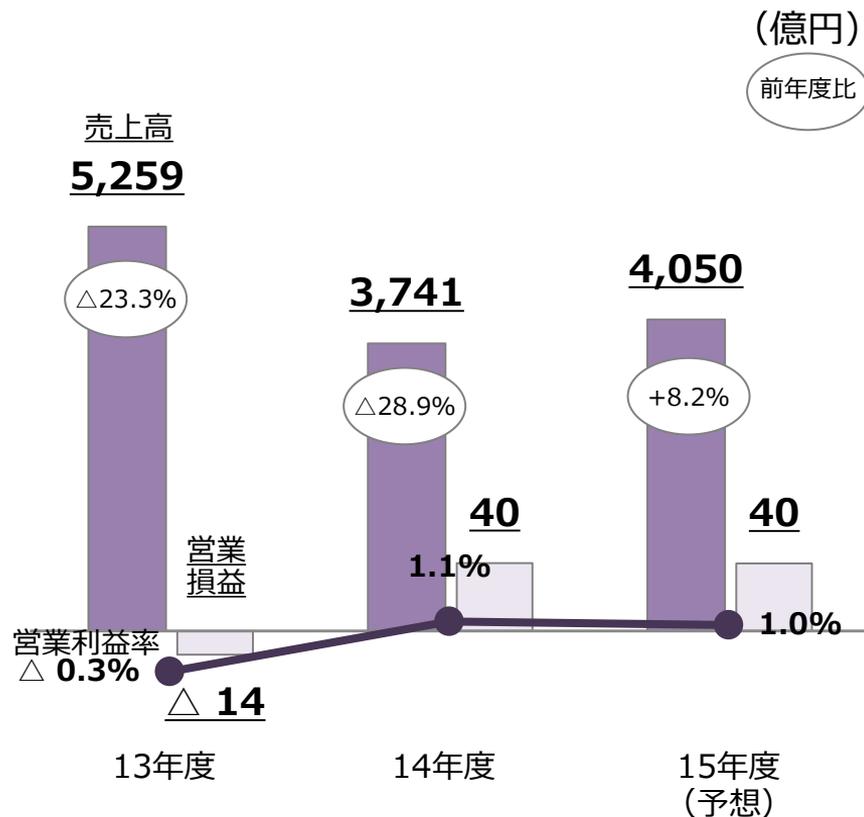
- サーバやネットワーク、ソフトウェアなどのソリューションプラットフォームを中心に増加を見込む

営業利益 330億円 (+16億円)

- 売上増や更なる原価低減により増益を見込む



※ 予想値は、2015年7月30日現在、カッコ内の%は前年度比



売上高 4,050億円 (+8.2%)

- 携帯電話端末事業が減少も
エネルギー事業などの増加を見込む

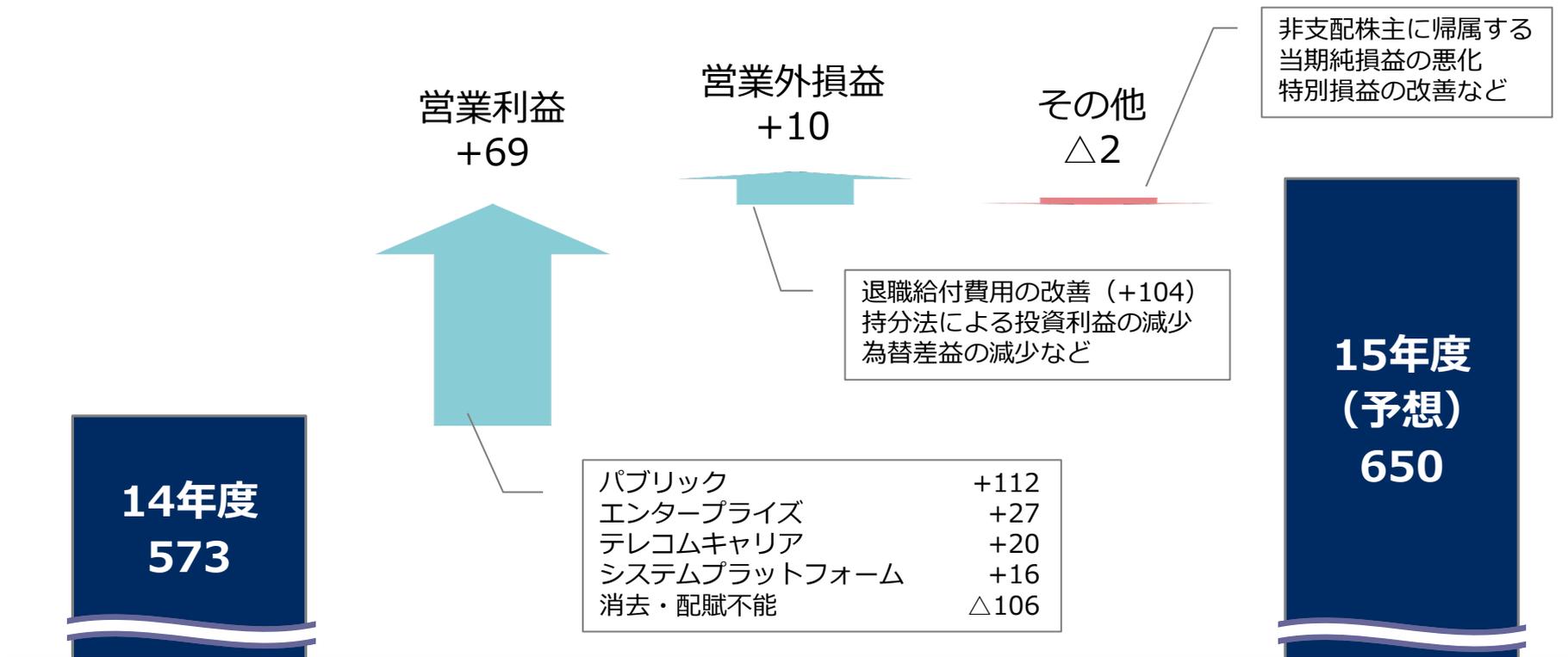
営業損益 40億円 (±0億円)

- エネルギー事業の損益が改善するものの
前年にあった知財関連の一過性の利益計上の影響などにより前年並みを見込む

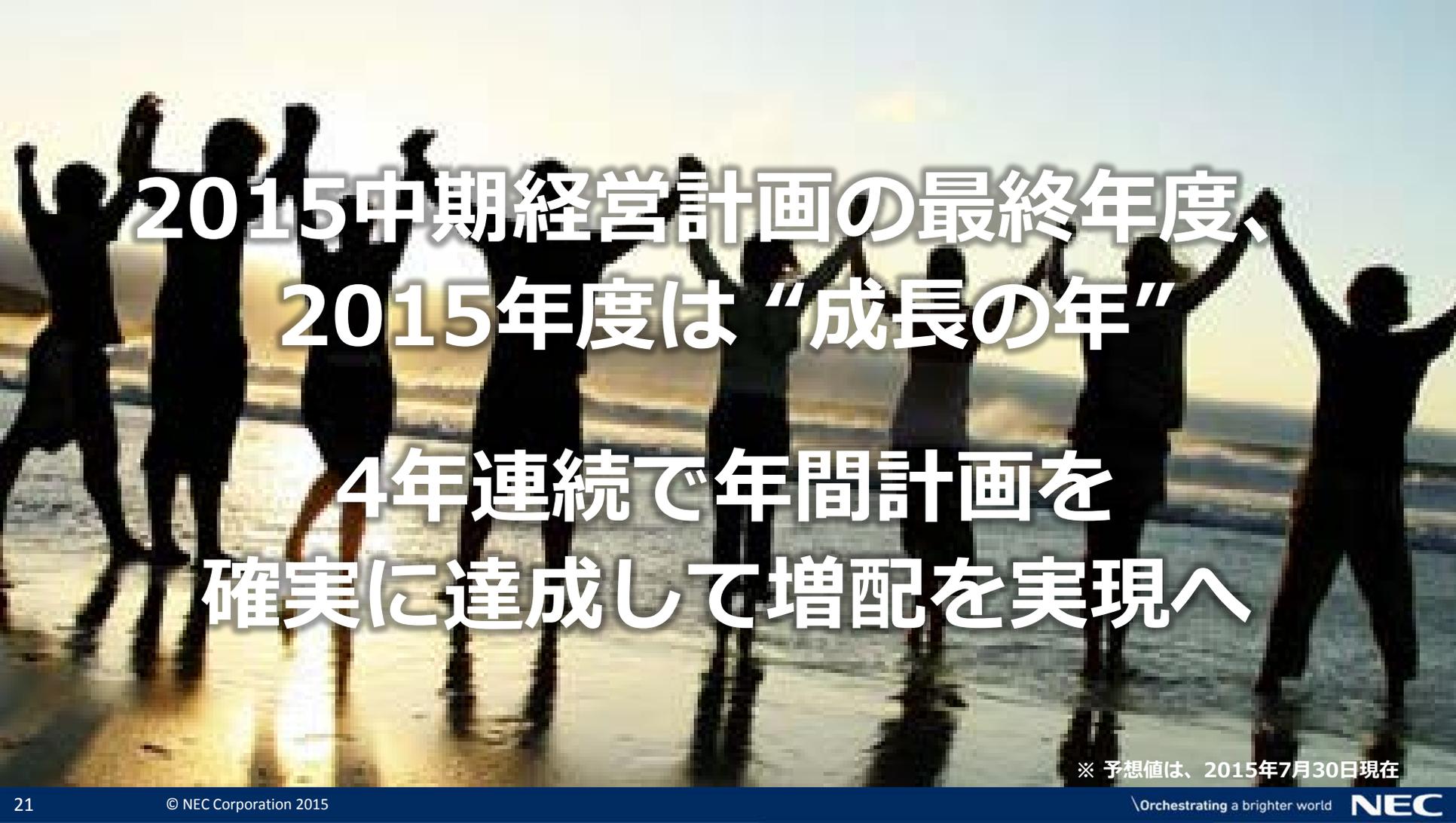
《参考》14年度上期実績：売上高 1,758億円/営業損益 △27億円

※ 予想値は、2015年7月30日現在、カッコ内の%は前年度比

(億円)



※ 予想値は、2015年7月30日現在

A group of people are silhouetted against a bright sunset or sunrise over a beach. They are holding hands and raising their arms in a celebratory gesture. The scene is reflected in the wet sand.

**2015中期経営計画の最終年度、
2015年度は“成長の年”**

**4年連続で年間計画を
確実に達成して増配を実現へ**

※ 予想値は、2015年7月30日現在

Orchestrating a brighter world

未来に向かい、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。
それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値が実現された社会です。

NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ

類のないインテグレーターとしてリーダーシップを発揮し、

卓越した技術とさまざまな知見やアイデアを融合することで、

世界の国々や地域の人々と協奏しながら、

明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。

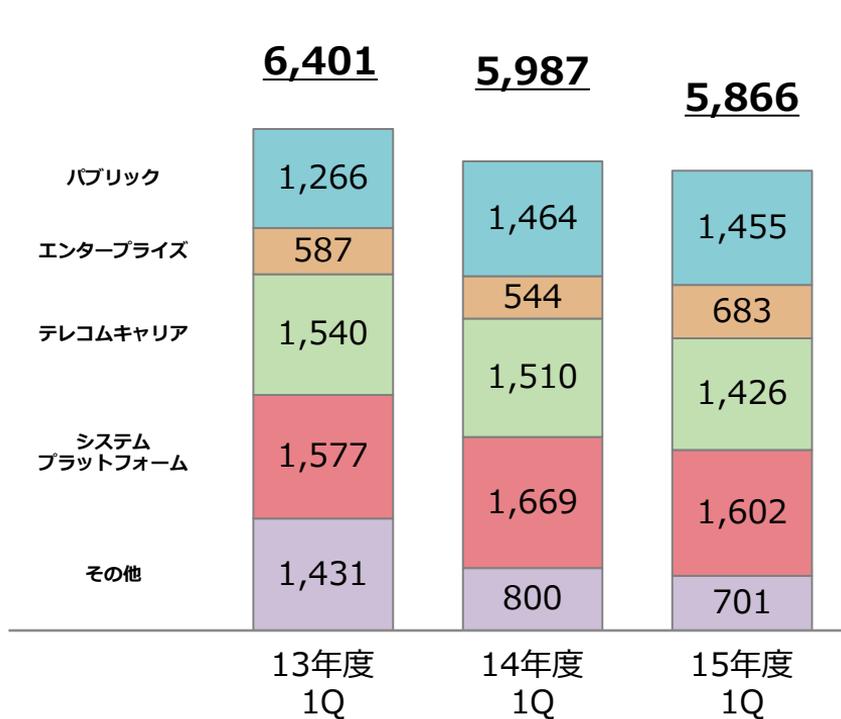
 **Orchestrating** a brighter world

NEC

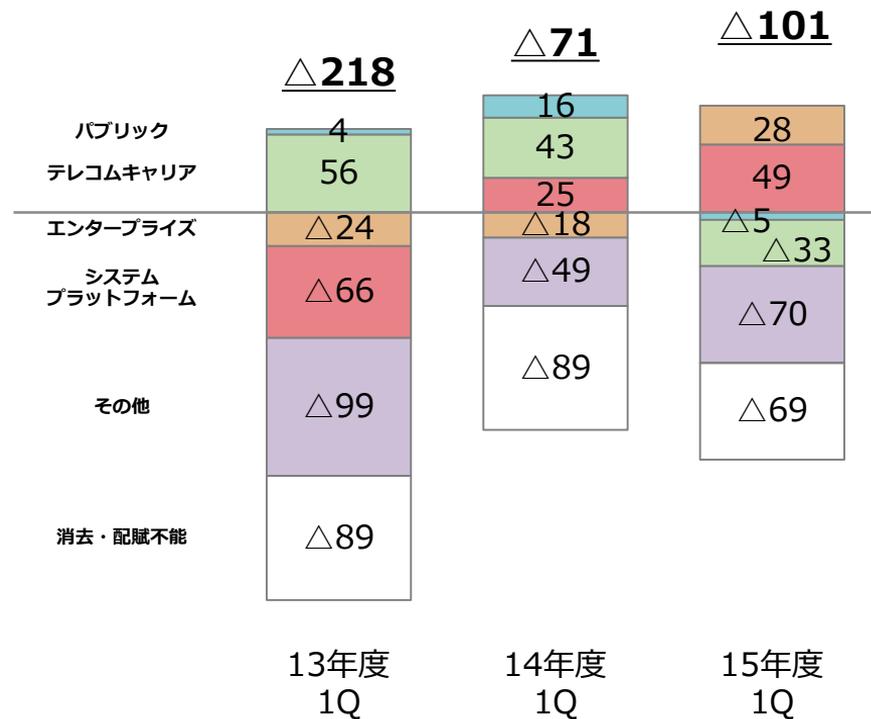
決算概要（補足）

(億円)

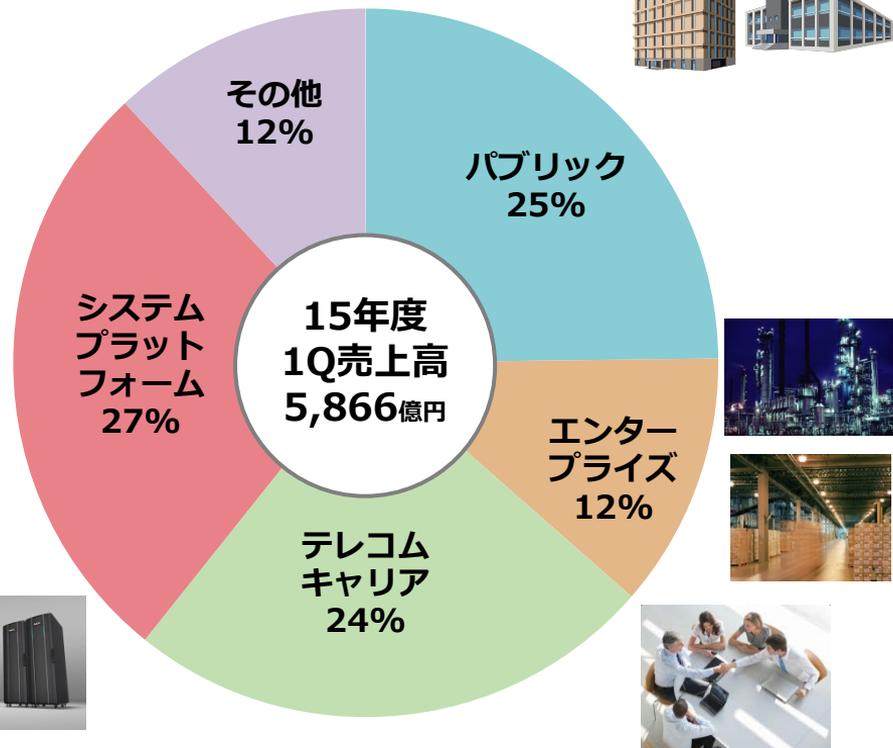
売上高



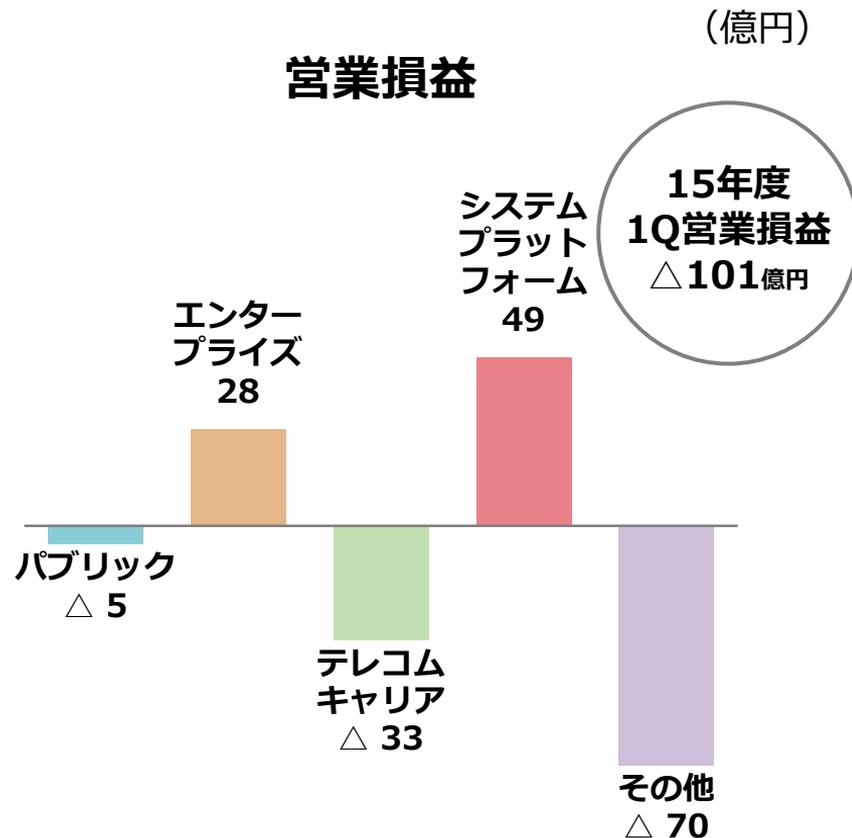
営業損益



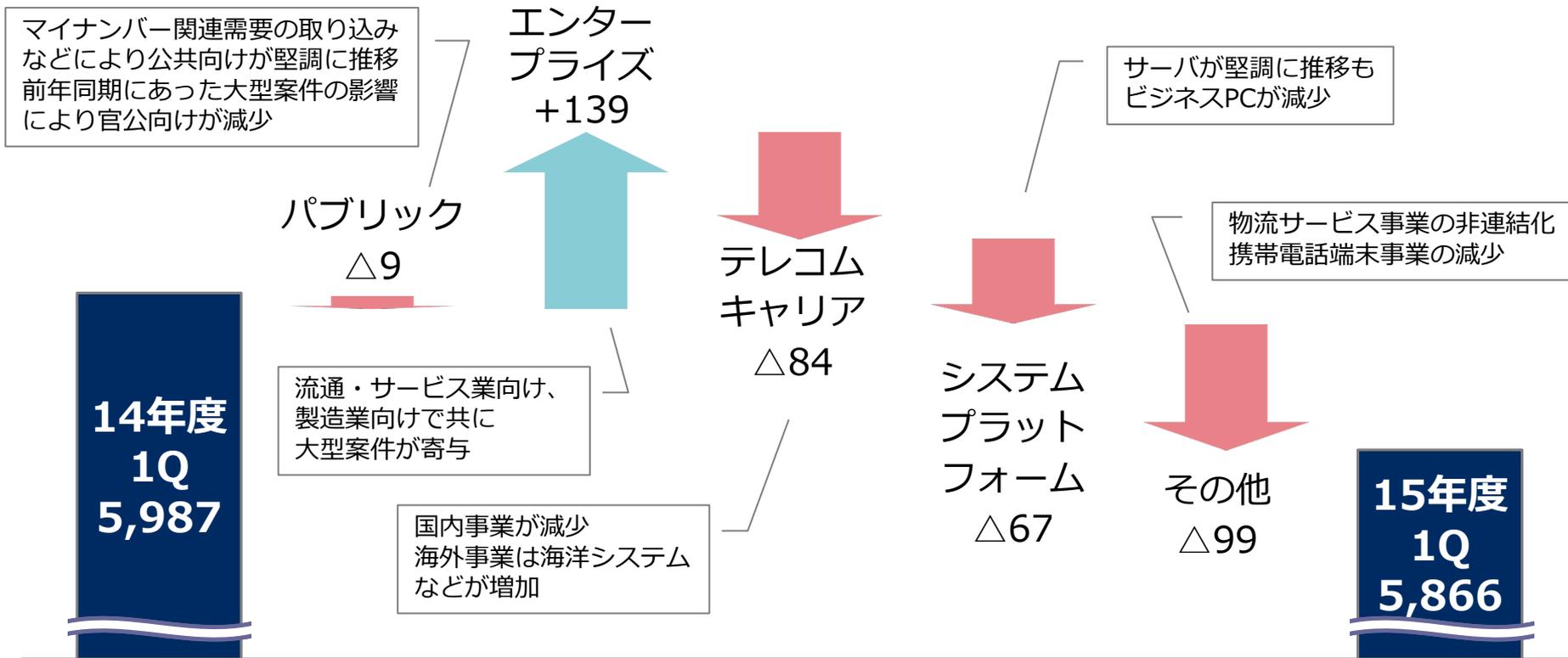
売上高



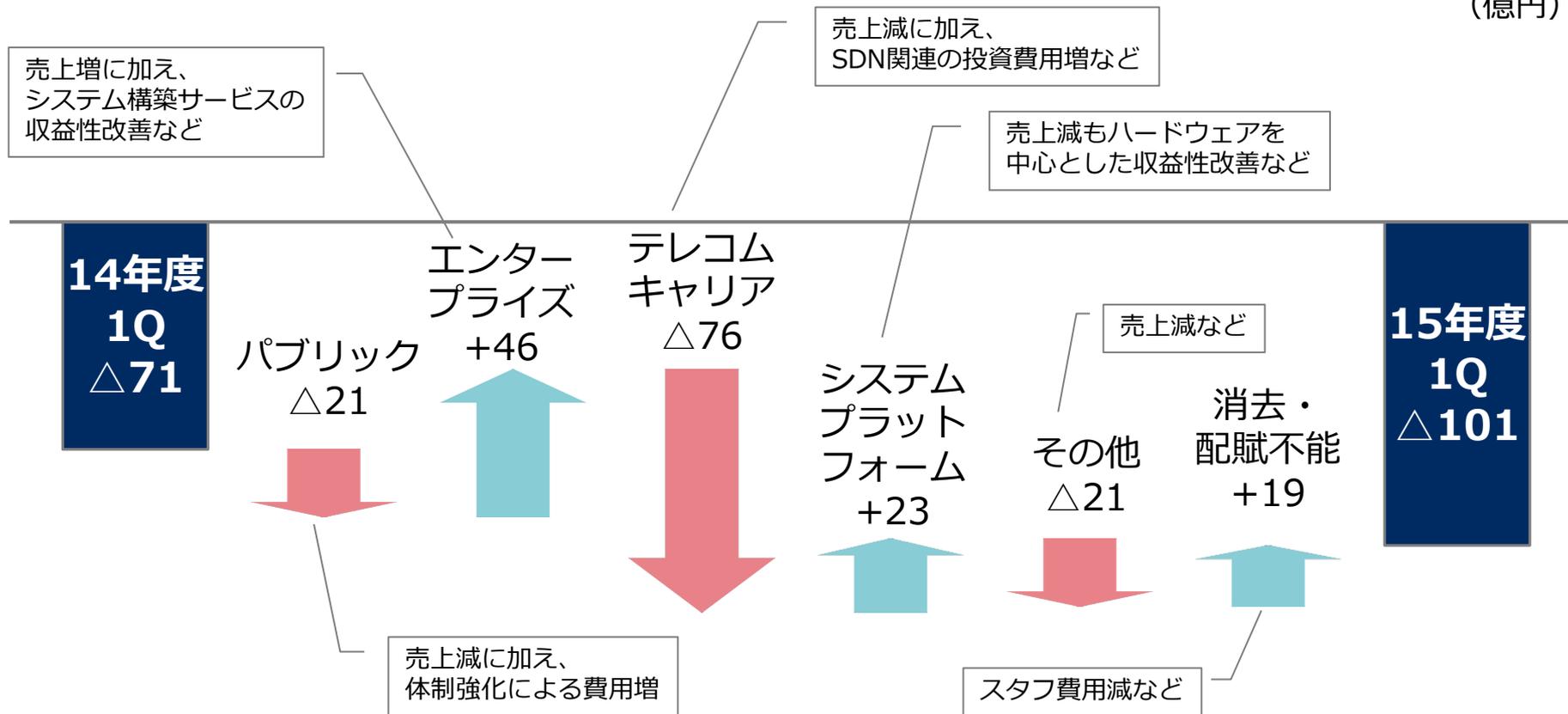
営業損益



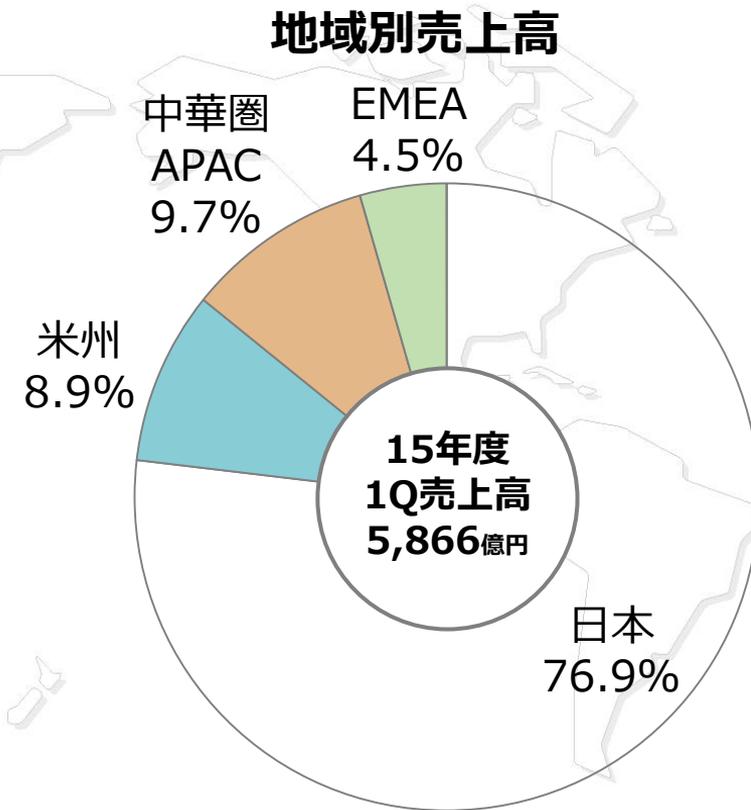
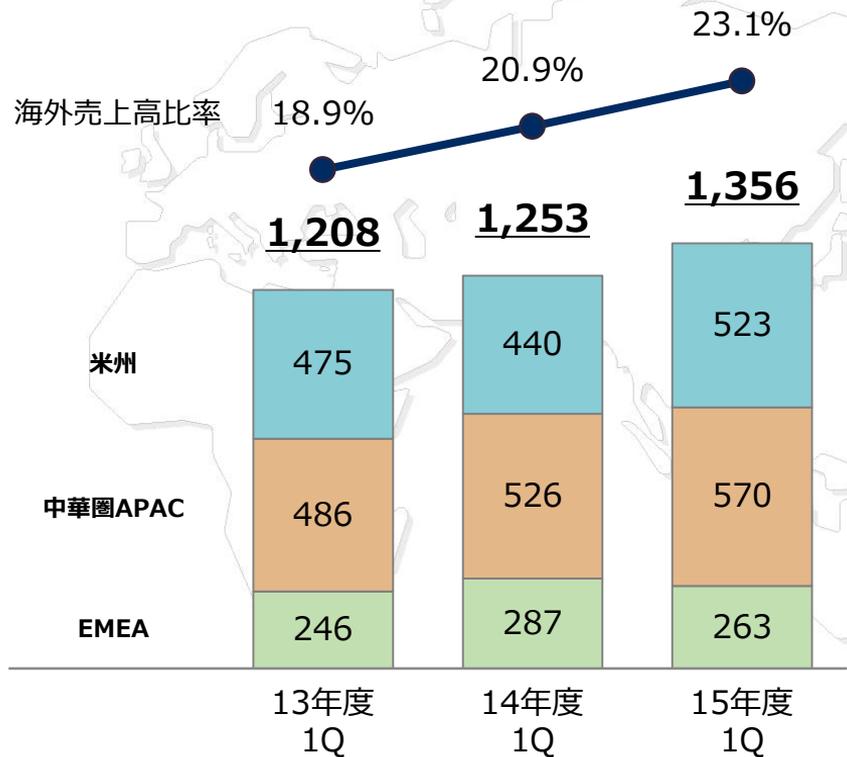
（億円）



(億円)



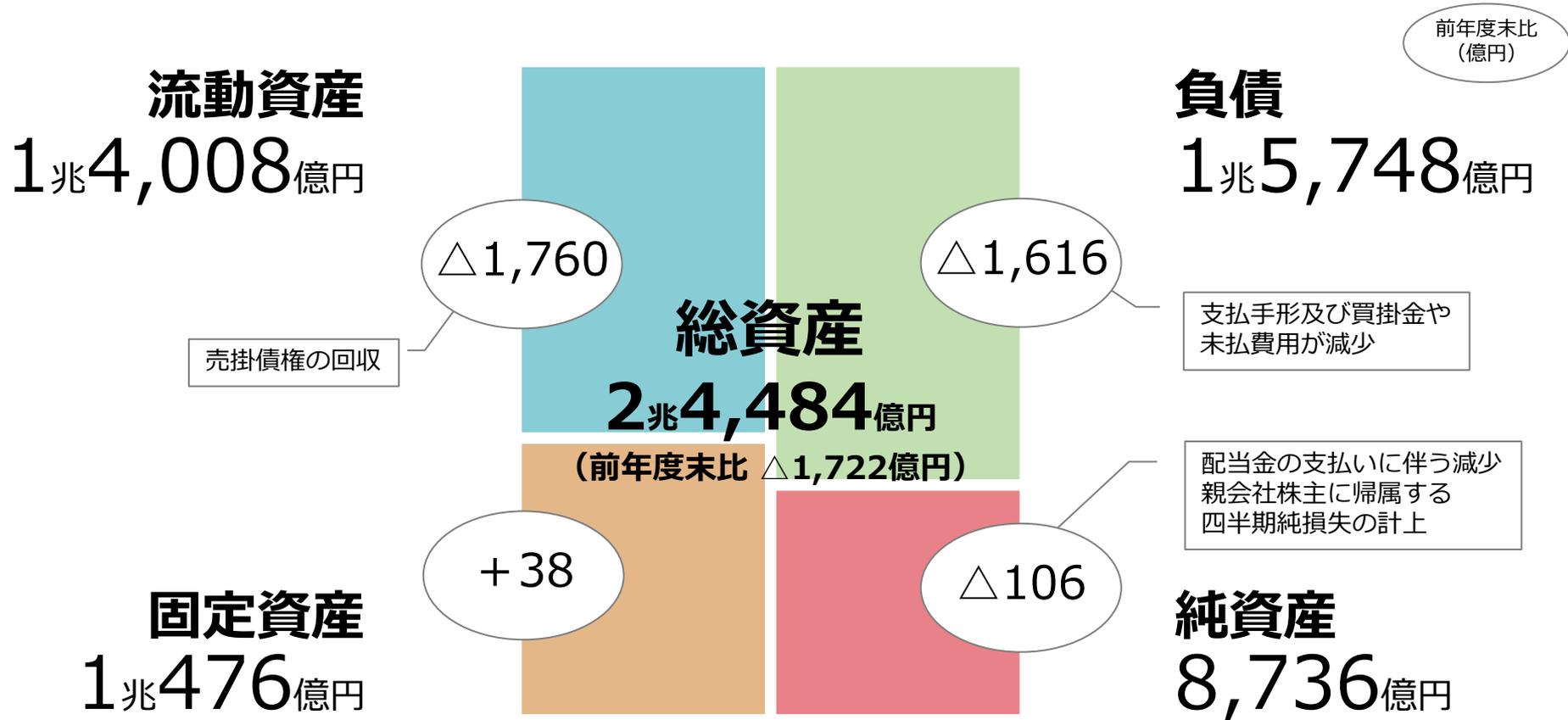
(億円)



※ 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています

(単位：億円)

	15/3末	15/6末	15/3末比	14/6末
総 資 産	26,207	24,484	△ 1,722	23,781
純 資 産	8,842	8,736	△ 106	7,265
有 利 子 負 債 残 高	5,208	4,923	△ 285	5,541
自 己 資 本 自己資本比率 (%)	8,237 31.4%	8,142 33.3%	△ 95 + 1.9pt	6,573 27.6%
D / E レ シ オ (倍)	0.63	0.60	+ 0.03pt	0.84
ネ ッ ト D / E レ シ オ (倍)	0.41	0.33	+ 0.08pt	0.50
現金及び現金同等物の期末残高	1,811	2,212	+ 400	2,264

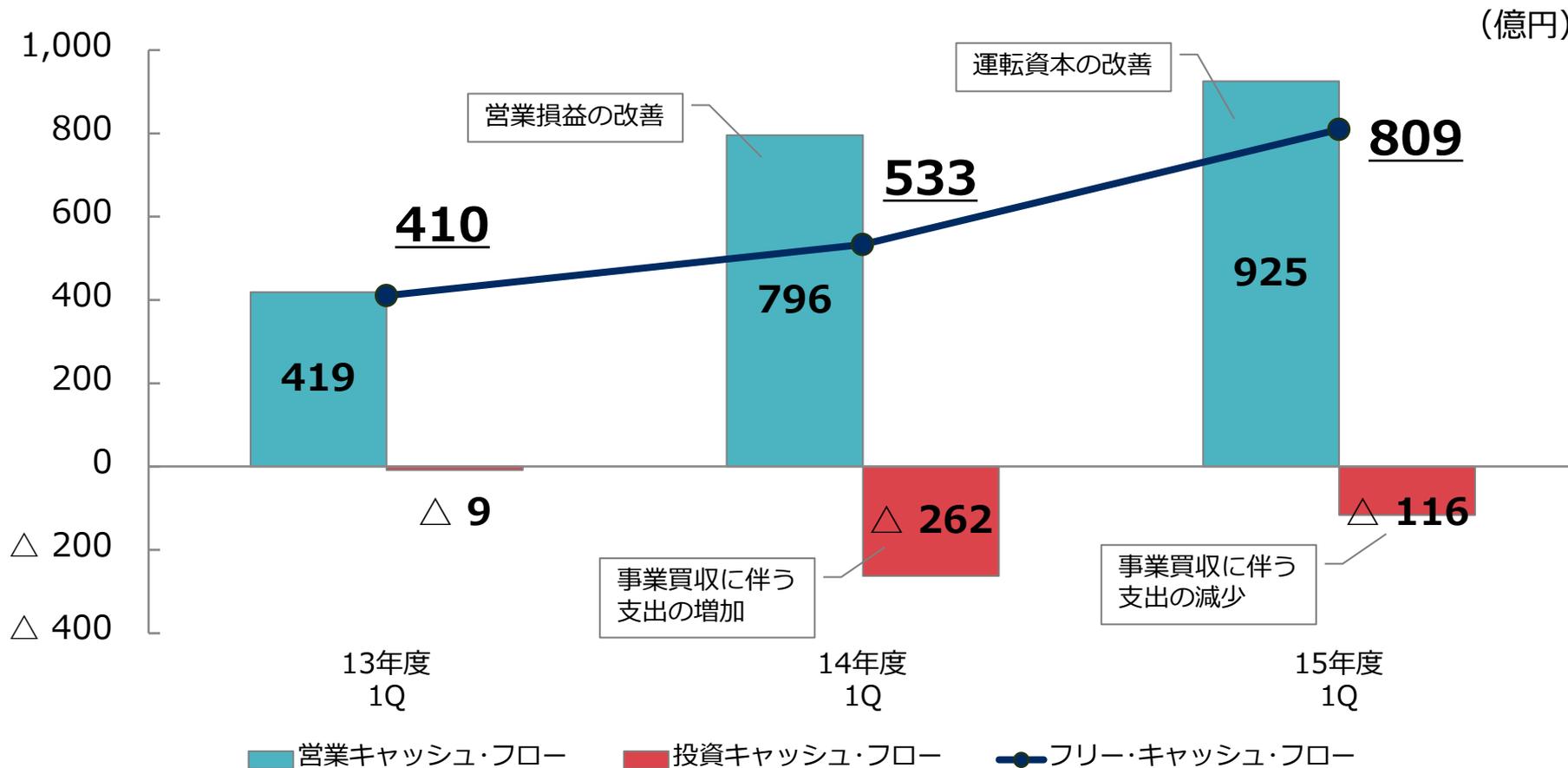


前年度末比
(億円)

売掛債権の回収

支払手形及び買掛金や
未払費用が減少

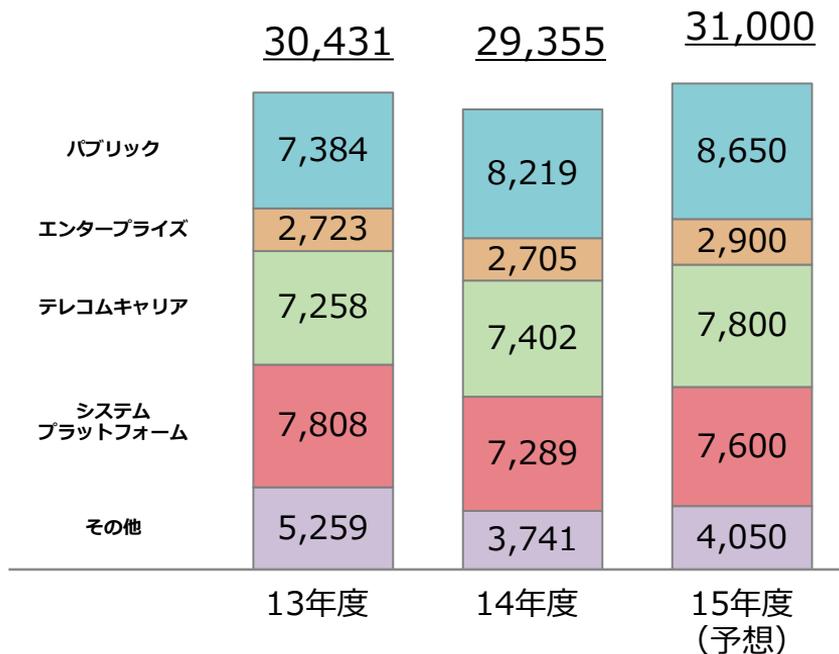
配当金の支払いに伴う減少
親会社株主に帰属する
四半期純損失の計上



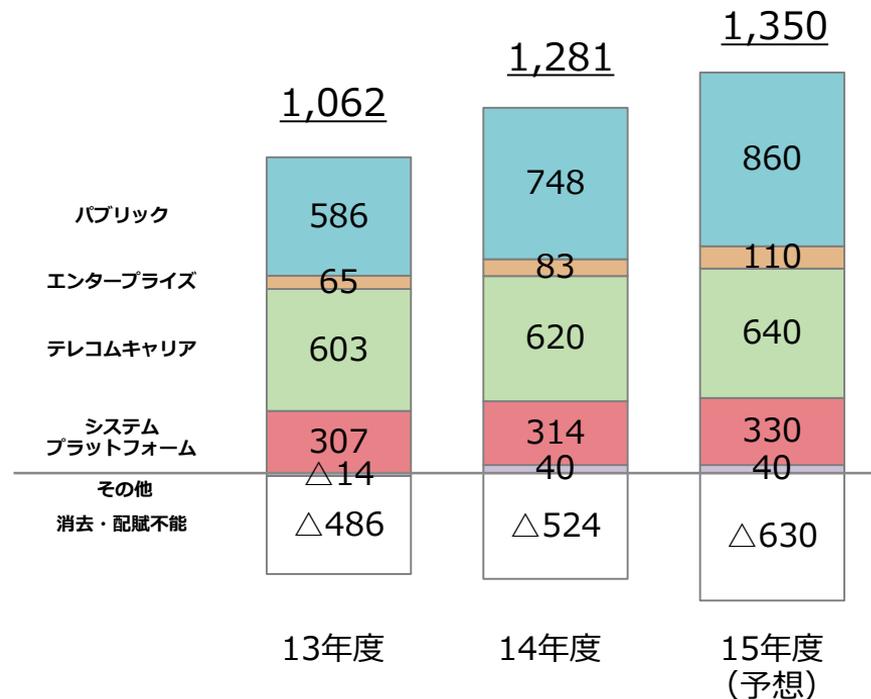
業績予想（補足）

(億円)

売上高



営業損益

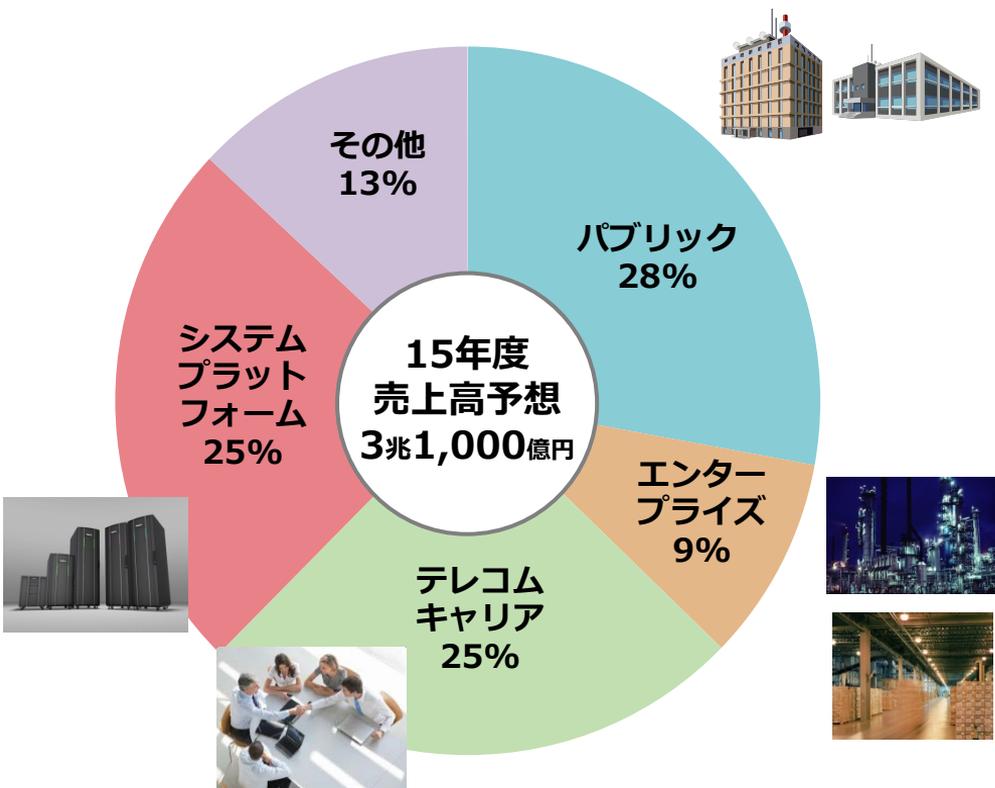


※ 予想値は、2015年7月30日現在

(億円)

売上高

営業利益



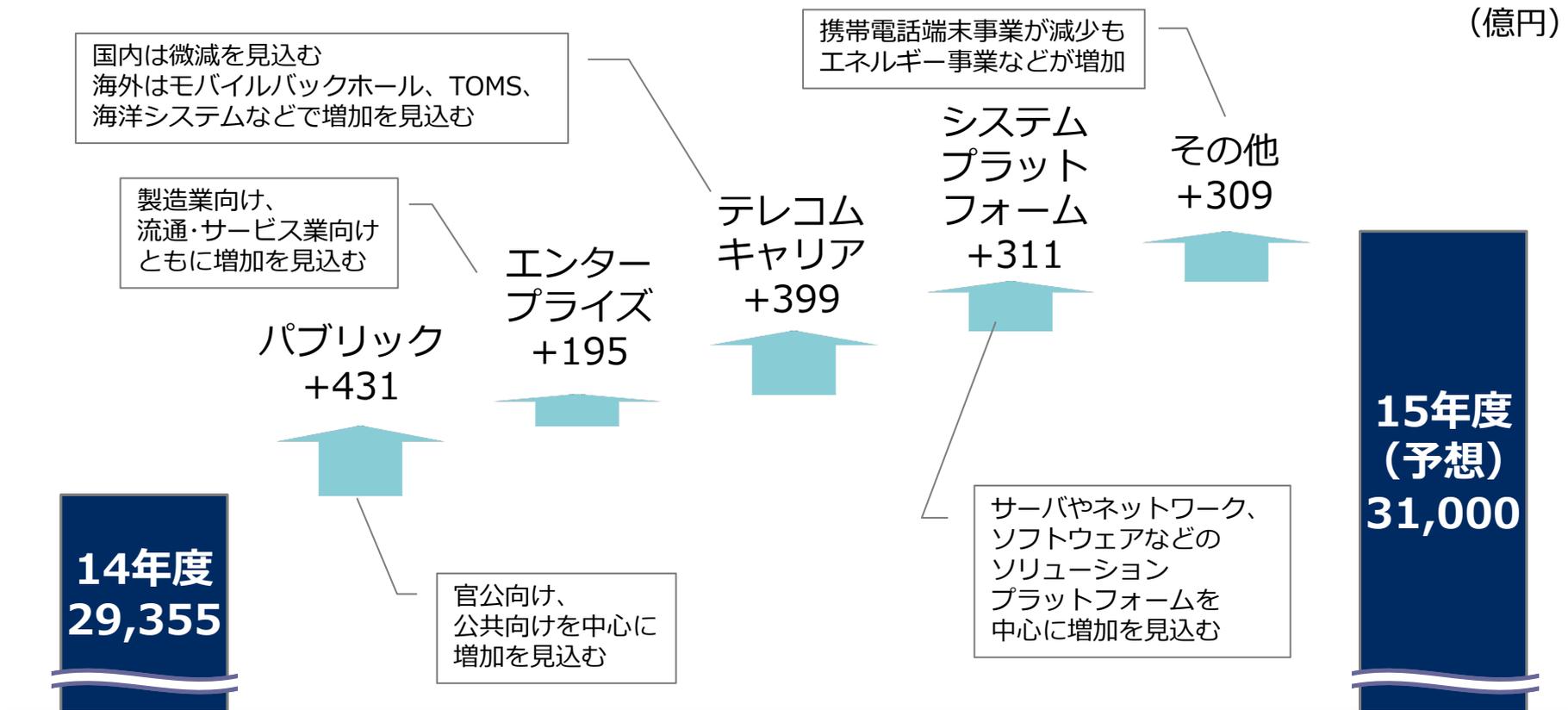
パブリック
860



**15年度
営業利益予想
1,350億円**

※ 予想値は、2015年7月30日現在

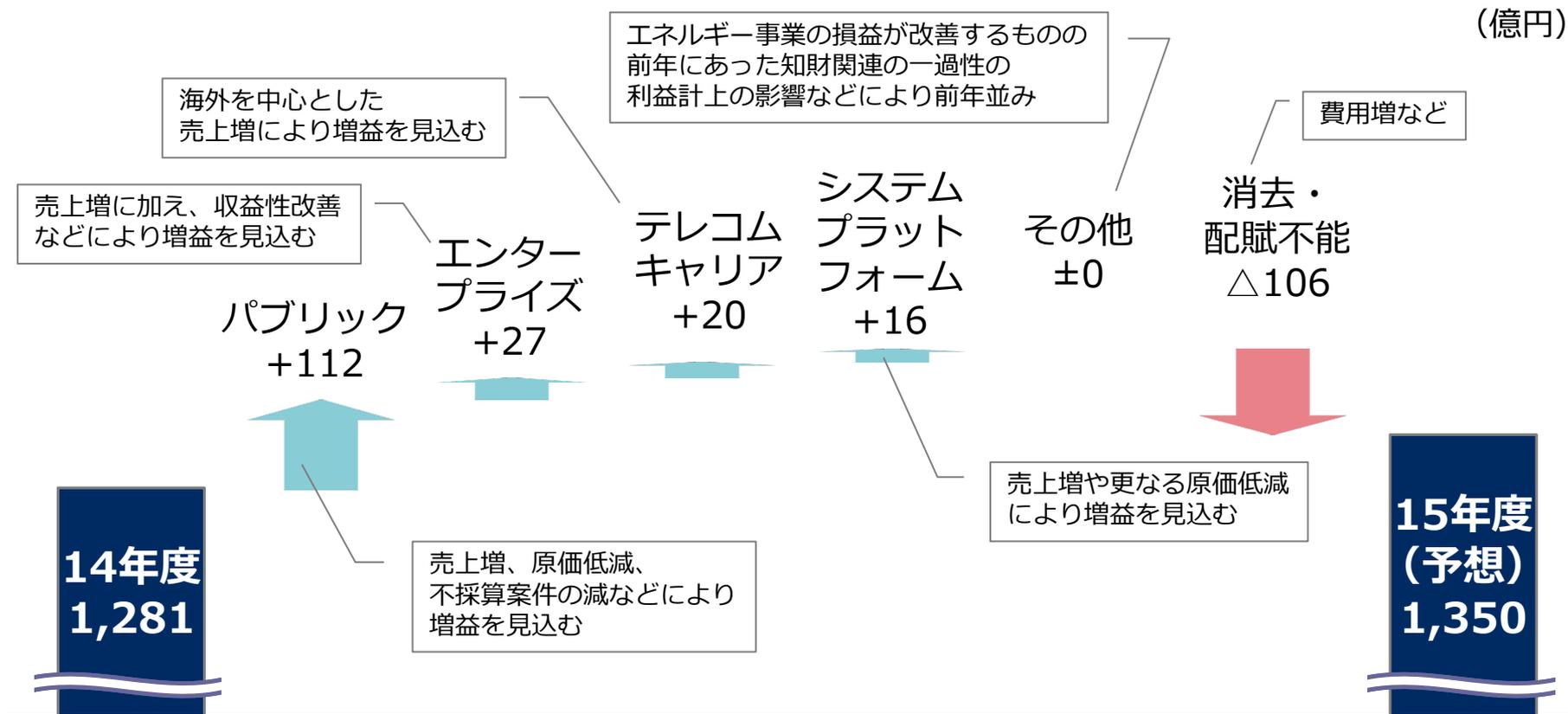
(億円)



※ 予想値は、2015年7月30日現在

営業利益増減（前年度比）

通期予想



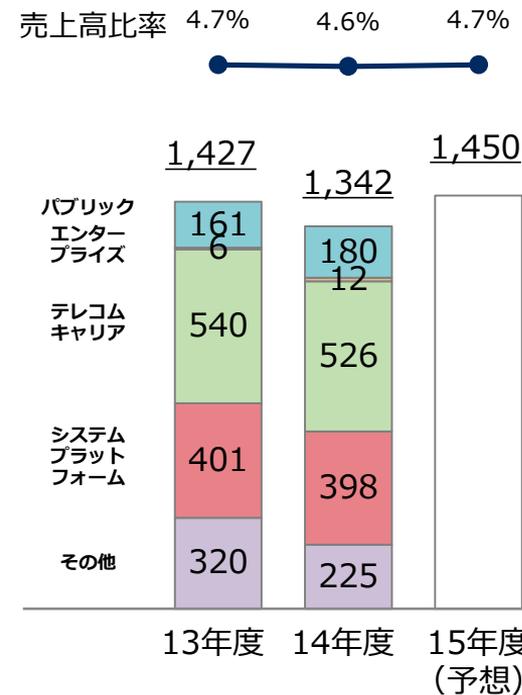
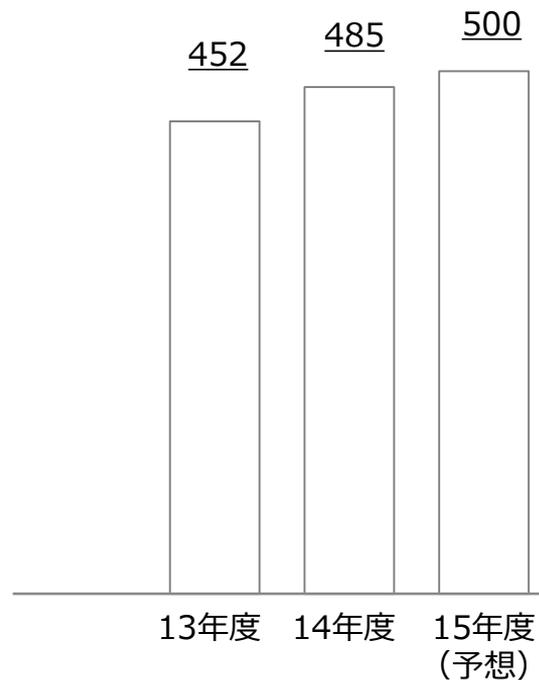
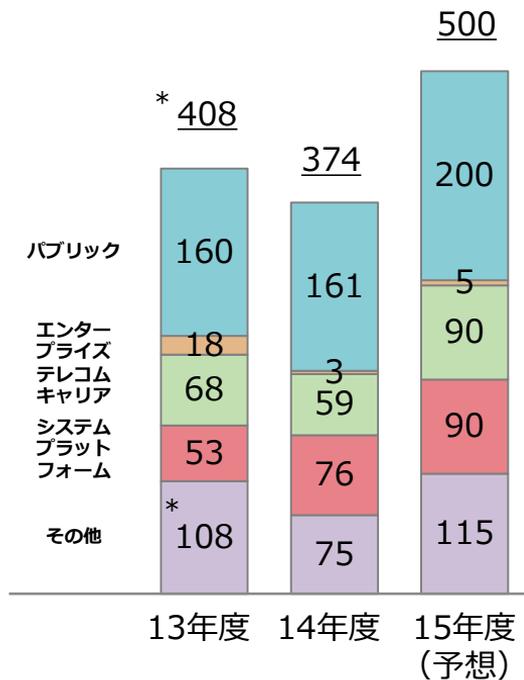
※ 予想値は、2015年7月30日現在

(億円)

設備投資額

減価償却費

研究開発費

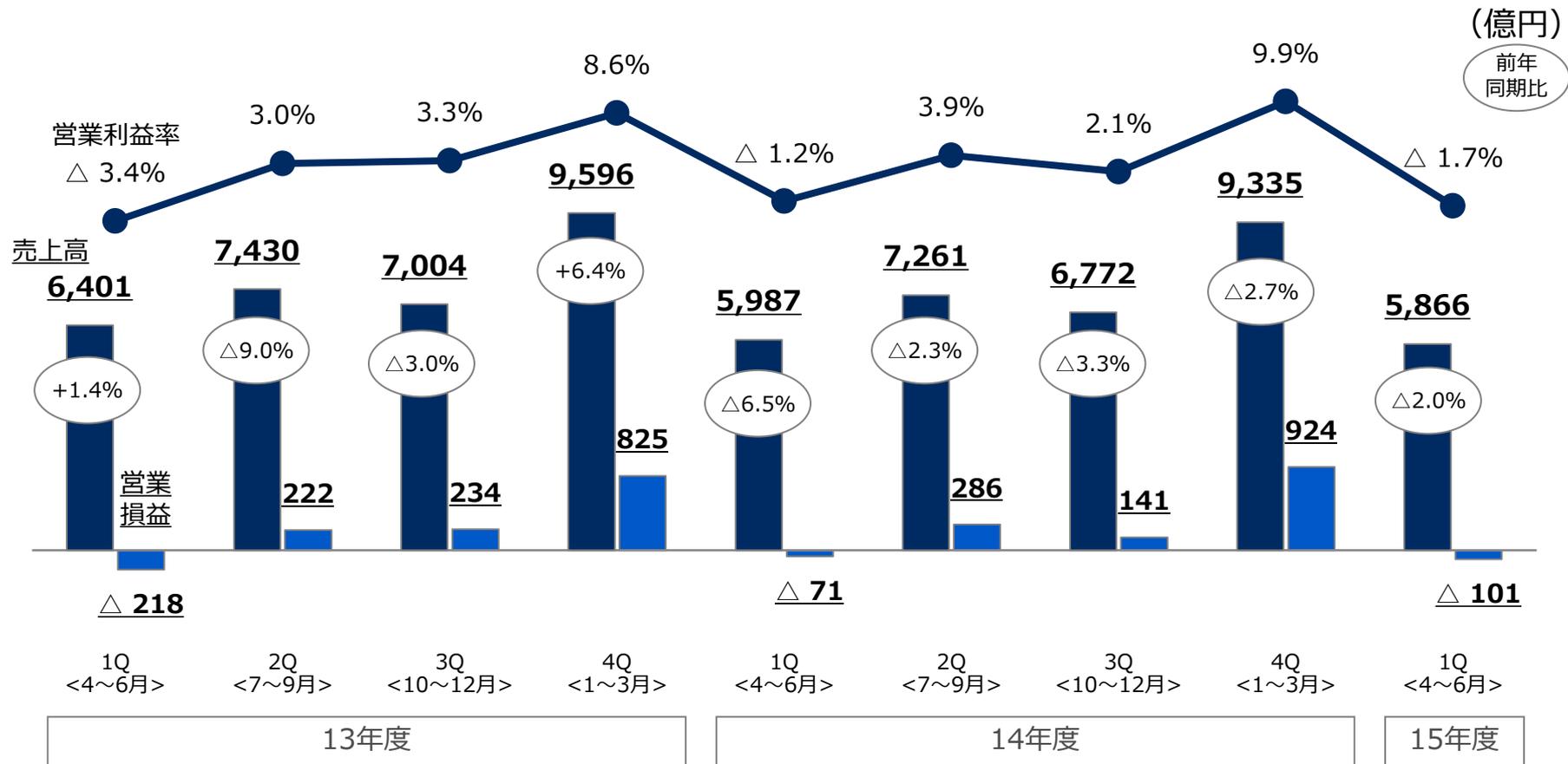


* 信託受益権の取得は含まず

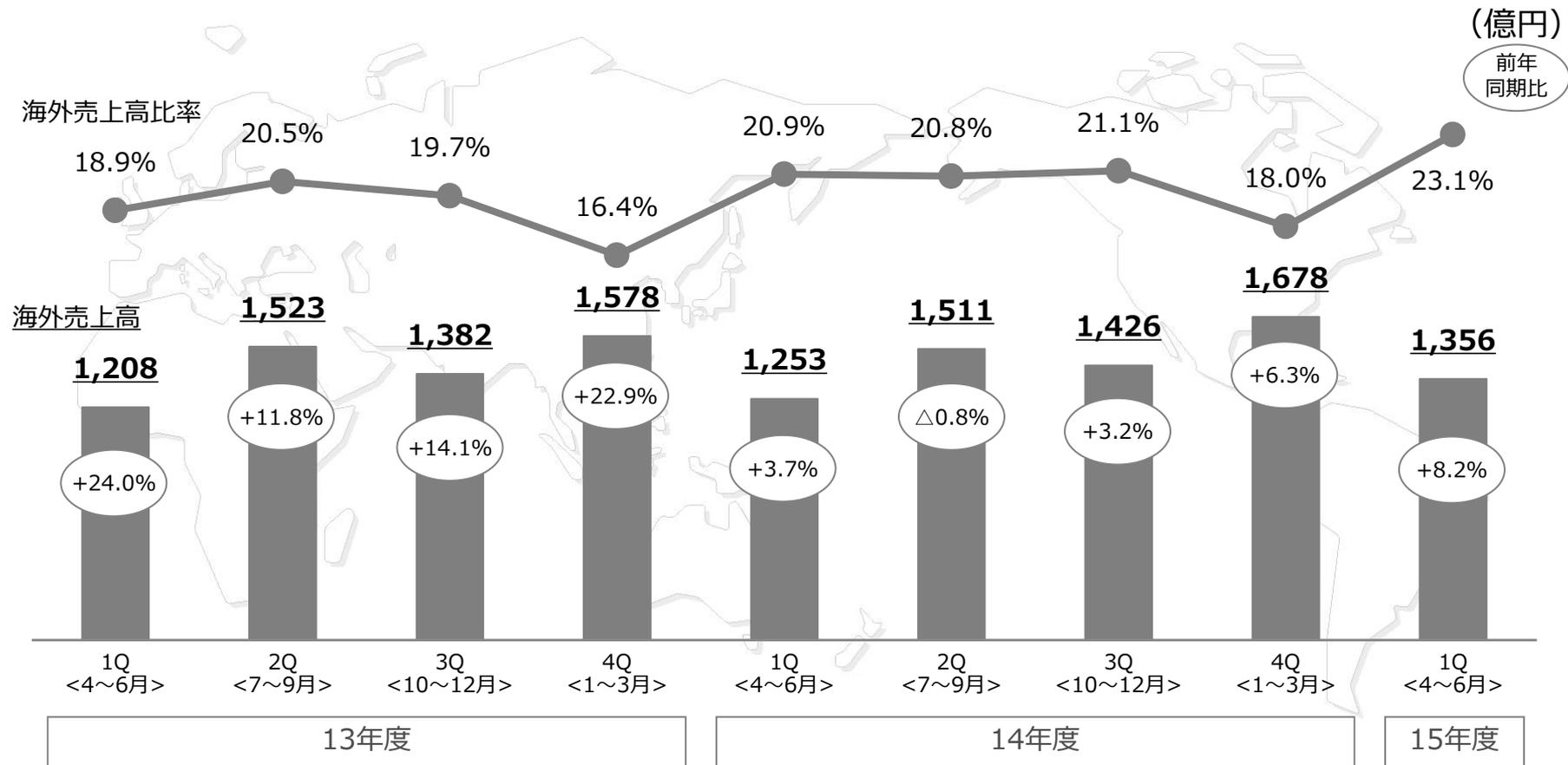
※ 予想値は、2015年7月30日現在

参考資料（業績データ）

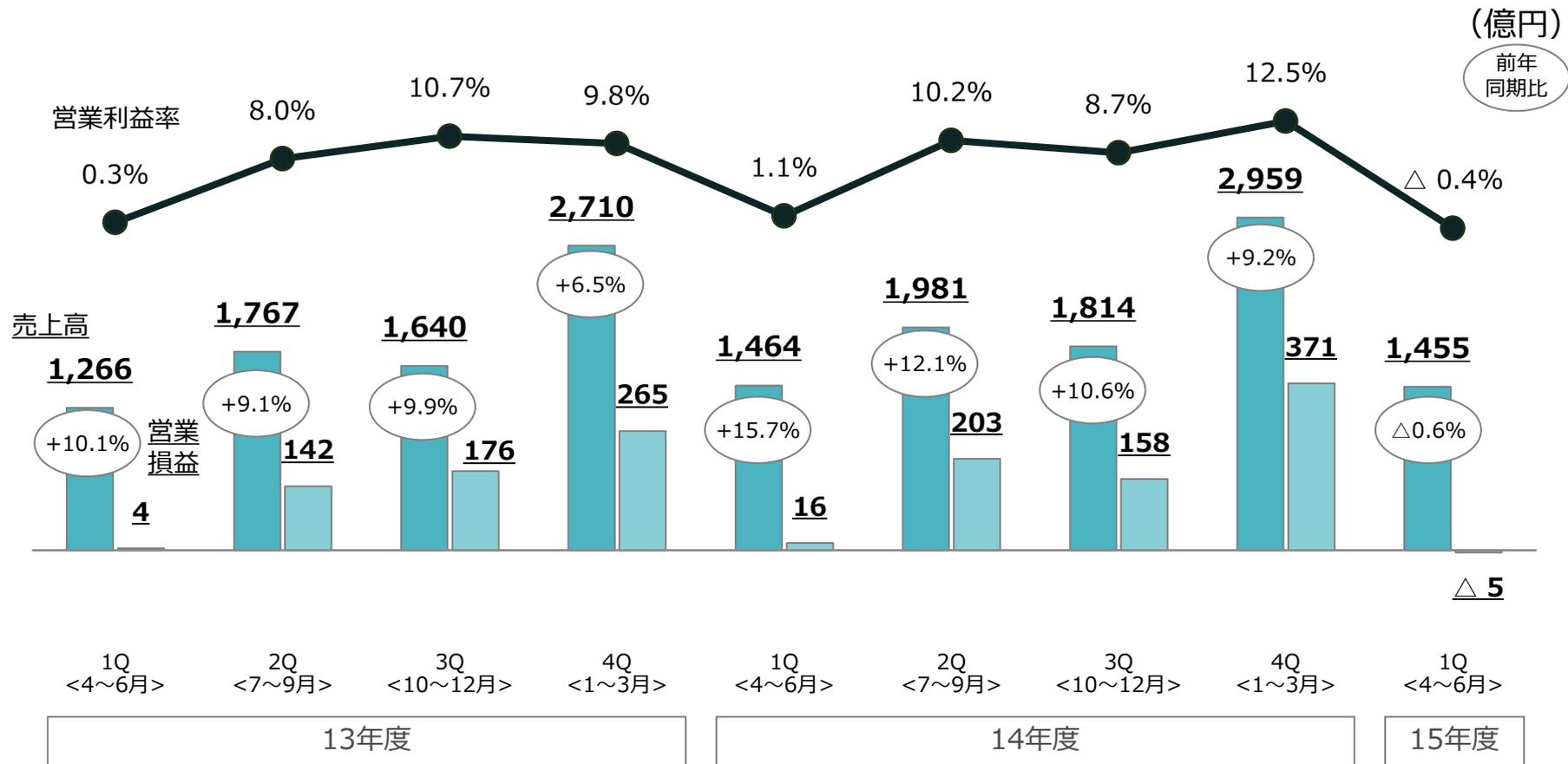
全社売上高・営業損益推移



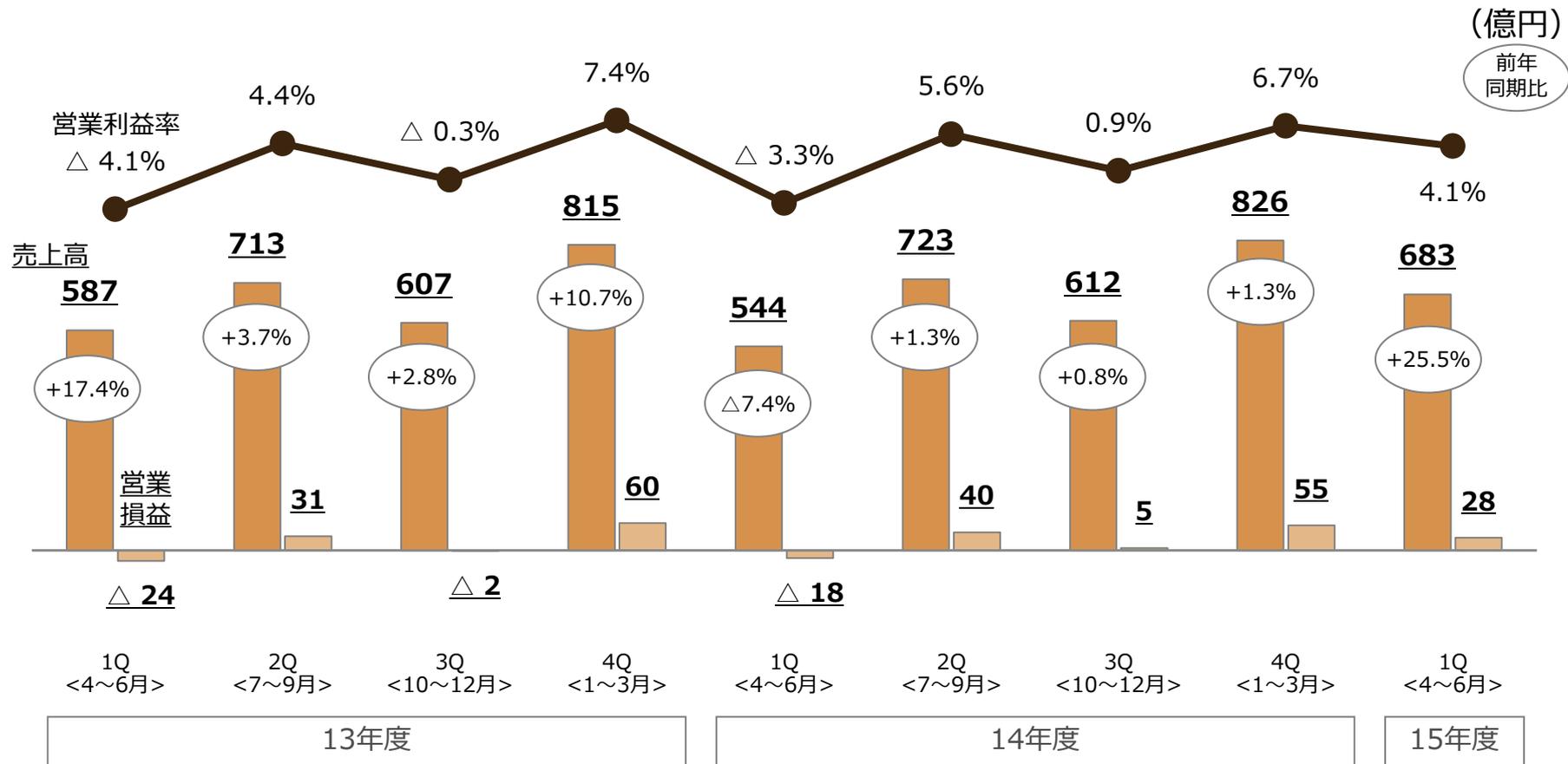
海外売上高推移



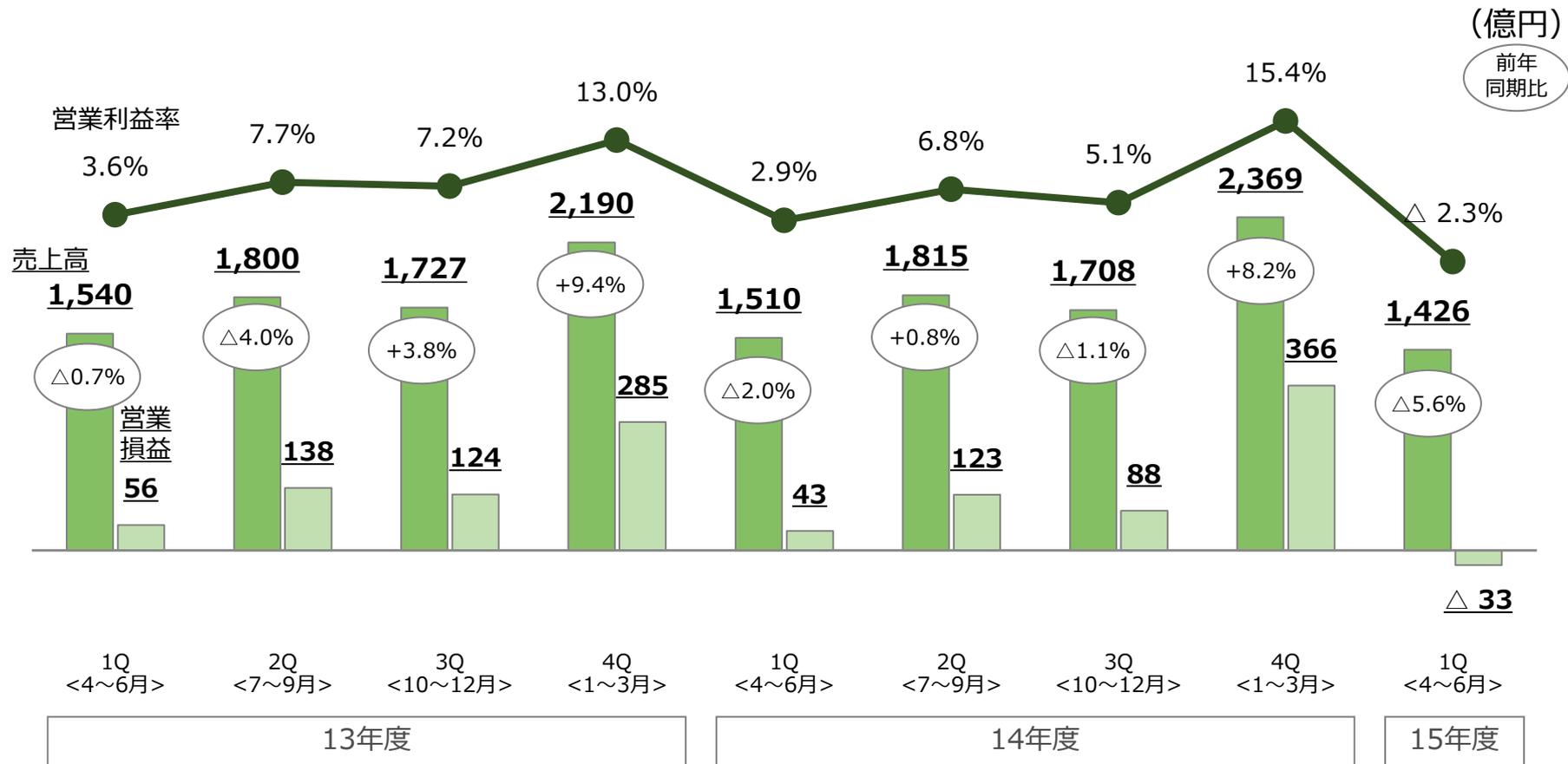
パブリック 売上高・営業損益推移



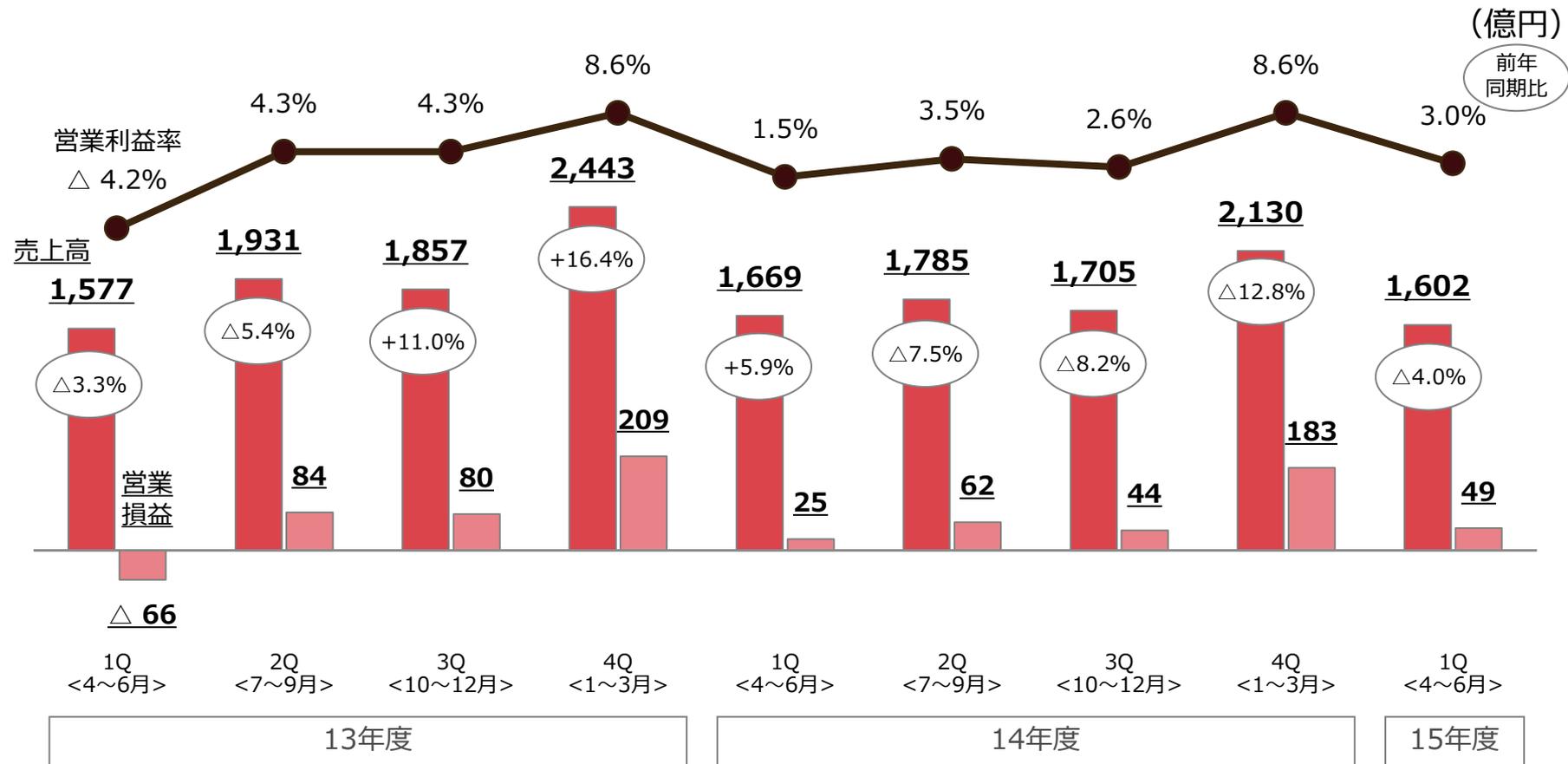
エンタープライズ 売上高・営業損益推移



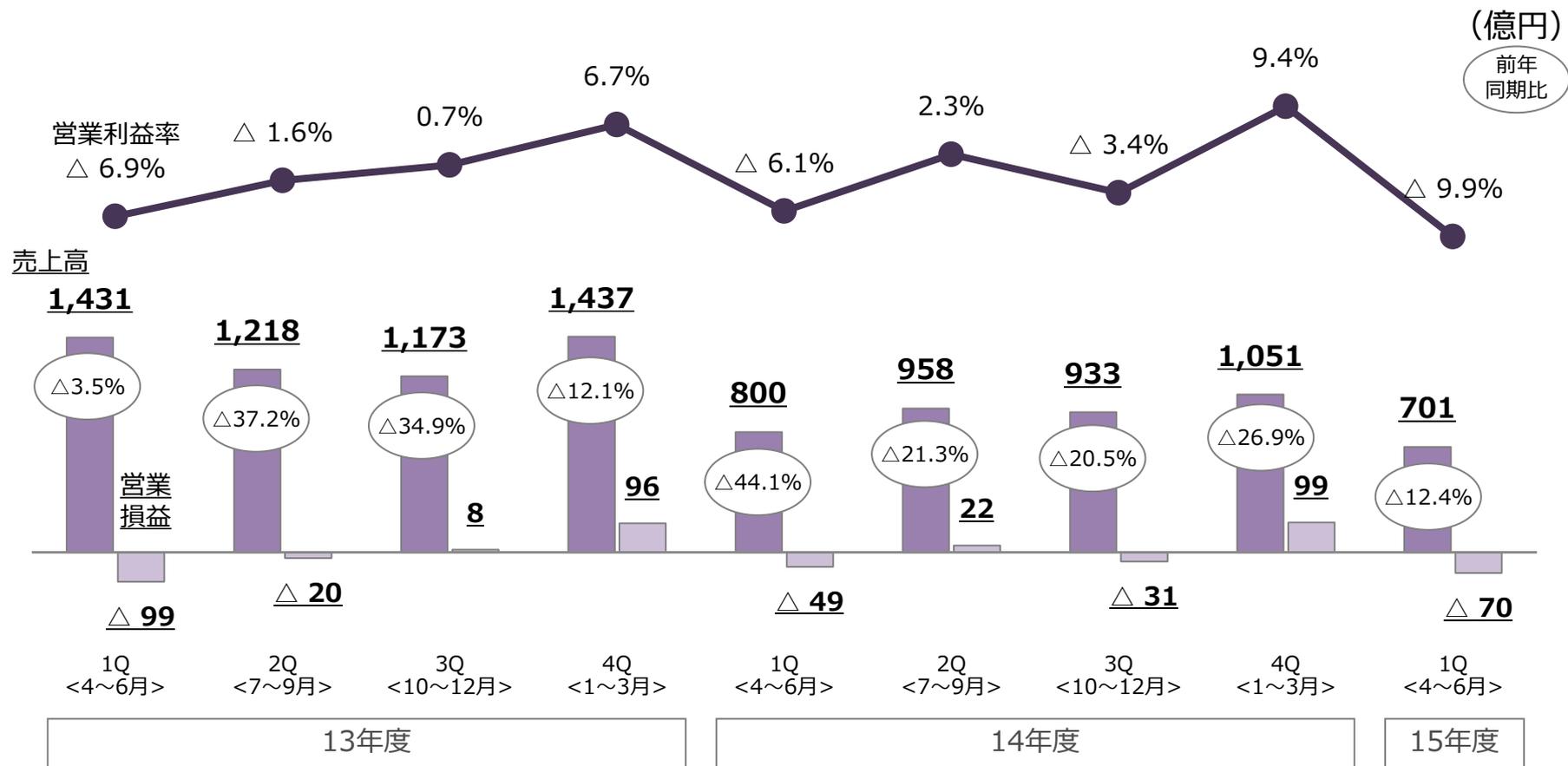
テレコムキャリア 売上高・営業損益推移



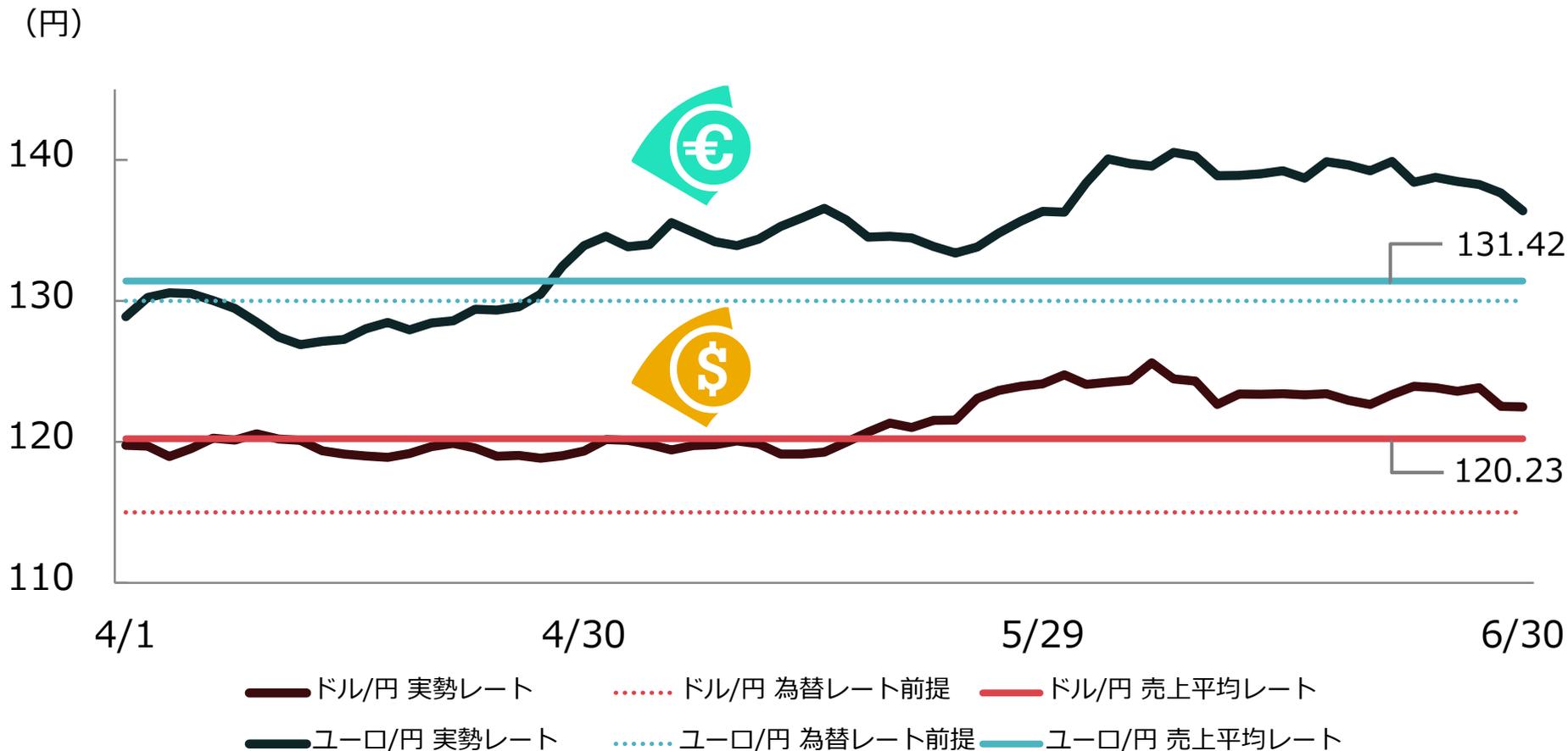
システムプラットフォーム 売上高・営業損益推移



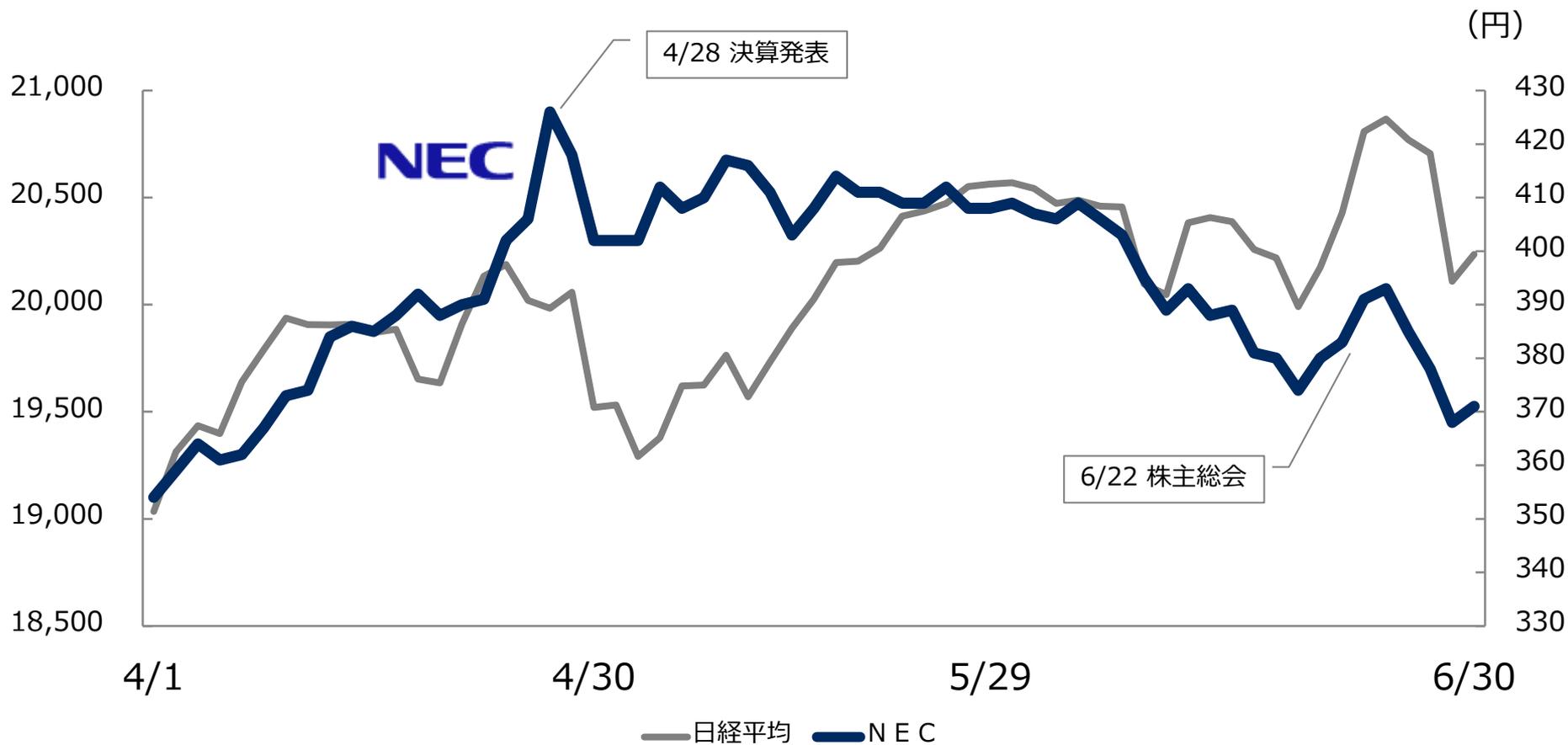
その他 売上高・営業損益推移



為替レートの推移



株価の推移



<将来予想に関する注意>

本資料には日本電気株式会社および連結子会社（以下NECと総称します。）の戦略、財務目標、技術、製品、サービス、業績等に関する将来予想に関する記述が含まれています。将来予想は、NECが金融商品取引所や関東財務局長等の規制当局に提出する他の資料および株主向けの報告書その他の通知に記載されている場合があります。NECは、そのような開示を行う場合、将来予想に関するセーフハーバー（safe-harbor）ルールに準拠しています。これらの記述は、現在入手可能な仮定やデータ、方法に基づいていますが、そうした仮定やデータ、方法は必ずしも正しいとは限らず、NECは予想された結果を実現できない場合があります。また、これら将来予想に関する記述は、あくまでNECの分析や予想を記述したものであって、将来の業績を保証するものではありません。このため、これらの記述を過度に信頼することは控えるようお願いします。また、これらの記述はリスクや不確定な要因を含んでおり、様々な要因により実際の結果とは大きく異なりうることをあらかじめご了承ください。実際の結果に影響を与える要因には、(1)NECの事業領域を取り巻く国際経済・経済全般の情勢、(2)市場におけるNECの製品、サービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力、(3)激しい競争にさらされた市場においてNECが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供し続けていくことができる能力、(4)NECが中国等の海外市場において事業を拡大していく能力、(5)NECの事業活動に関する規制の変更や不透明さ、潜在的な法的責任、(6)市場環境の変化に応じてNECが経営構造を改革し、事業経営を適応させていく能力、(7)為替レート（特に米ドルと円との為替レート）の変動、(8)NECが保有する上場株式の減損をもたらす株価下落など、株式市場における好ましくない状況や動向、(9)NECに対する規制当局による措置や法的手続による影響等があります。将来予想に関する記述は、あくまでも公表日現在における予想です。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、新たな情報、将来の事象その他にかかわらず、NECがこれら将来予想に関する記述を見直すとは限りません。

本資料に含まれる経営目標は、予測や将来の業績に関する経営陣の現在の推定を表すものではなく、NECが事業戦略を遂行することにより経営陣が達成しようとする目標を表すものです。

本資料に含まれる記述は、有価証券の募集を構成するものではありません。いかなる国・地域においても、法律上証券の登録が必要となる場合は、有価証券の登録を行う場合または登録の免除を受ける場合を除き、有価証券の募集または売出しを行うことはできません。

(注) 当社の連結財務諸表作成に関する会計基準は「日本基準」を採用しています。

年度表記について、13年度は2014年3月期、14年度は2015年3月期（以下同様）を表しています。